巻頭言

(財)日本ハンドボール協会副会長
渡邊　佳英

21世紀に向けたハンドボールを皆さんと共に考えていきたい

日本ハンドボール協会は今年創立60周年を迎えました。人間でいえば還暦を迎え、円熟期に入ったところといえましょう。歴代の協会役員名簿を拝見しますと歴史の重みを感じます。これまでの多くのハンドボール競技者が、それぞれの社会、立場で、ご活躍されております。

私はハンドボールの選手経験はありませんが、亡父渡邊和美（日本協会元副会長）の影響で少年期のころから数々の国際試合や国内の好試合を観戦、応援する機会に恵まれました。ハンドボールのスピード、ダイナミックなシュート、ゴールキーパーの好守、攻防の切り替えなど少年時代の私を魅了した興奮は今も衰えていません。

今年は日本ハンドボール協会にとって画期的な年です。第15回男子世界ハンドボール選手権大会が5月17日から熊本の4会場で開かれます。この大会は日本協会が世界に実力を示すチャンスであり、また試練の場でもあります。

過去14回の大会がヨーロッパを離れたことがなく、初めてアジア、日本で開催されます。世界中のハンドボール関係者、ファンが日本に期待しています。

世界選手権は前回チャンピオンのフランス、昨夏のアトランタ五輪優勝のクロアチアなど本場ヨーロッパの強豪が世界最高峰のプレーを繰り広げます。迎え撃つ日本代表にはがんばってもらわなければなりません。現在、代表チームはオレ・オルソン監督（スウェーデン）の指導の下、戦力を飛躍的に向上させておりホストチームの名誉を担っての健闘を期待しています。勝敗はともかく地元日本チームの善戦を軸に大会を大いに盛り上げたいものです。

開催地である熊本県・市の皆さんの暖かい支援と大会組織委員会熊本事務局職員の緻密で周到な準備で運営面は万全と思われますが、日本協会としても担当者全員が一丸となり、それぞれの部署で誠心誠意を尽くし大会を成功に導かねばなりません。

世紀のイベント、男子世界選手権大会が終わった後も大会が残してくれた教訓を競技面、運営面でも生かしたいものです。大会が盛り上がっただけで終われば線香花火と同じです。この盛り上げを永続化しなければなりません。

日本でのハンドボール競技は一部の愛好家には根強い人気がありますが、一般的には、今までそれほど世間の注目を浴びることが少ない競技でした。

今回の世界選手権は世間の目をこちらに向けてもらう千載一遇のチャンスであります。日本協会もいろいろなイベントと企画を考えています。

この機会に多くの方に競技の面白さを知ってもらい、日本協会としても21世紀に向けたハンドボールを皆さんと共に考えていきたいと思います。

協会だより

1月度常務理事会②

日　時　1月26日(日)
10時30分～17時00分
場　所　日体協504号室
出席者　中澤専務理事、
常務理事7名、参事1名、
事務局3名

1、'97世界選手権大会実施本部組織体制作りについて（継続）

大会運営のための実施本部をふまえた体制作りについて提示された業務内容を考慮して協議。人選については、大会期間中必ず滞在対応できるように補佐、または複数を置くことで担当（案）を決めた。未定を含め、中澤専務理事に一任し、組織委員会統括本部へ提案することとした。

2、'97世界選手権大会関連について

(1)世界大会期間中に開催される、フェスティバル大会、コーチ・レフェリーシンポジウム等諸行事参加者のための、日程、交通手段、宿泊施設について、熊本事務局と調整の上早急に決定し、公示し、また全国理事会で報告することとした。

(2)世界大会における日本協会としての参加または出席を必要とする元役員並びに関係者に対する委嘱状または案内状を送付することについて、及びその費用とフェスティバル大会の費用負担について継続検討する。

(3)世界大会に向けて、各担当部署で発生する費用について財源及び支出額を明確にし、必要経費を申告するよう依頼があった。

(4)諸行事について費用の支出を含め、各担当者が計画し提案することとなった。

(5)機関誌特集号の広告集めについて各常務理事に協賛金の収集を依頼、協賛金集めに協力することで合意。

3、平成8年度第2次補正予算について

(1)一般会計事務費、機関誌発行事業について説明があり、他は、各担当の努力で第1次補正予算で執行される見込みであることを報告。

(2)JOC委託事業の振り替え、スウェーデン国際親善試合、'97フレンドシップ、ケーブルテレビ放映料、全国告知広告等について説明がなされた。

以上の事業について補正及び事業振り替えを承認。

4、平成9年度事業計画、事業予算の審議

各担当常務理事より申請の事業部門別行事計画案、予算案を審議した。収入について、補助金は前年のオリンピックイヤーより減額の予測である。支出について前年並みの予算で展開を要請し、各担当別に検討した。

(1)事務費について、諸費の縮小があり原案通り了承

(2)審判関係事業費は、前回よりの再提案により、審判研修事業拡大により前年度より拡大を了承。

(3)普及指導関係事業費について、原案の通り了承。

(4)競技力向上事業費・特別会計事業費について、一般会計で8年度より事業延期分、及び特別強化活動の未消化を9年度に繰り越すことで了承。

熊本世界選手権に向けての強化費、ジュニア対策及び女子世界選手権、ジュニア選手権に対して予算化することで了承。

(5)機関誌発行事業費について、原案通り了承

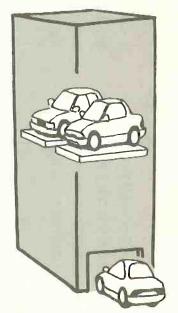
(6)日本リーグ事業費について、外国人レフェリー招聘、海外研修等、原案通り了承

その他

世界選手権大会における各担当部署の必要経費については逐次検討する。

大会後の記録集の作成について予算が必要であることで合意。

男子第14回世界学生選手権での6位入賞について、日本協会として表彰することで了承。

ペナント、日の丸ピン等の物品デザインについて、デザインの変更することを了承。

財団法人日本ハンドボール協会平成9年度事業計画

平成9年度事業計画にあたり、現在の社会情勢から日本協会の財政状況を検討し、重点施策及び関係事業を策定した。

本年度は日本協会創立60年を記念する年であり、各種事業を展開していく。特に'97男子世界選手権大会熊本が開催されることから、日本協会の総力を挙げて大会を成功に導かなければならない。大会成功の鍵は全日本男子ナショナルチームの活躍と大会を支援する観客の力に待つところであり、一層の支援と環境づくりの協力を求めるところである。

一方、大会終了後の事業計画として、今後の選手強化の一環としてジュニア対策の強化、レフェリーの養成事業の充実、指導者の育成事業の充実、各種大会の活性化等、日本協会を中心として総力を挙げて対応していかなければならない。

上記の目標を達成するために、以下の事業を展開する。

1．国内競技会の開催

（1）全国大会

●第38回実業団選手権
（男子）5月1日～5月4日／愛知
（女子）5月2日～5月5日／大阪

●第17回全国クラブ選手権大会
（東地区）7月下旬／福島
（西地区）7月下旬／未定

●第10回全国小学生大会
7月29日～7月31日／滋賀

●第48回全日本高校選手権大会
8月2日～8月7日／京都

●第40回全日本教職員選手権大会
8月6日～8月9日／名古屋

●第24回全国高専選手権大会
8月6日～8月7日／石川

●第2回ジャパンオープントーナメント
（男子）8月7日～8月10日／横浜
（女子）8月7日～8月9日／川崎

●第26回全国中学校大会
8月22日～8月25日／高知

●第22回日本リーグ（前期）
9月20日～11月24日／全国各地

●第52回国民体育大会
10月26日～10月30日／大阪

●第22回日本リーグ（後期）
12月9日～2月1日／全国各地

●第40回全日本学生選手権大会
11月12日～11月16日／川崎

●第48回全日本総合選手権大会
（男子）12月4日～12月7日／東京
（女子）12月20日～12月23日／神戸

●第6回JOCジュニアオリンピックカップ
12月26日～12月27日／大阪

●第22回日本リーグプレーオフ
2月27日～3月1日／駒沢

●全日本実業団チャレンジ'98
2月6日～2月8日／関東・東北

●第21回全国高校選抜大会
3月24日～3月28日／名古屋

（2）関連国内大会

●東日本学生選手権大会
8月8日～8月12日／秋田

●西日本学生選手権大会
8月13日～8月17日／福岡

●第52回国体ブロック大会
8月下旬／各地

2．国際交流（国際大会・海外遠征）

●第15回男子世界選手権大会・熊本
5月17日～6月1日／熊本
（第6回女子・N．アジア選手権／世界選手権予選　未定）

●第11回女子ジュニア世界選手権大会
7月31日～8月15日／アイボリーコースト

●第13回女子世界選手権大会
11月30日～12月14日／ドイツ

●第5回韓・日・中男女ジュニア交流
8月25日～8月30日／韓国

●ワールドドリームハンド
6月3日／東京

●'97ジャパンカップ神奈川・東京・千葉
8月29日～8月30日／神奈川

Ⅰ．総務

●基本方針
国内事業の組織的対応の整備と充実

●重点施策
①諸規定の整備
日本協会規定の整備充実及び加盟団体との整合性をはかる。IHF諸規定との整合性をはかる。
②組織体制の整備充実
加盟団体との連絡調整をはかるための会議を開催する。
事務連絡体制の組織的体制の確立を目指す。

Ⅱ．強化関係事業

●基本方針
1．第15回男子世界ハンドボール選手権大会での目標達成をするための強化策を強力に推進する。
目標　①ベスト16　②ベスト8　③チャレンジメダル
（1）国内での国際試合を企画実施とチームの強化をはかる。
（2）特別委員会（選手強化）との連携をはかり特別強化費を効果的に活用する。
（3）ナショナル選手所属チームとの選手強化の一貫体制を充実し、効果的な強化策を実施する。
2．第13回女子世界選手権大会、第11回女子ジュニア世界選手権大会での上位入賞を果たすための強化諸施策を推進する。

●重点施策
1．'97年度各ナショナル活動計画（基本方針・重点施策）に基づき計画的に強化策を実施する。
2．各種国際大会（国内・国外）で優秀な成績をあげるために国内・外の強化合宿、海外遠征などを計画的に実施する。
3．シドニーオリンピックの出場権を獲得するため「オルソン指導要項」に基づき強化施策内容の総見直しを行い、強化体制の再構築をする。
4．スポーツ医科学委員会との連携を密にしてナショナル選手の体力・健康管理の強化をはかる。

Ⅲ．スポーツ医科学委員会関係事業

●基本方針
NA男・女選手及びジュニア選手の体力、健康水準の抜本的向上をはかるため、スポーツ科学研究と特別強化（スポーツ医学研究）に区分する。
スポーツ科学は、体力づくりの普及徹底ならびに栄養摂取、体脂肪、骨密度の現状の改善策を現状進出で具現する。
特別強化は、NA男女選手のトップコンディショニングに不可欠なメディカルチェック・体力測定、チーム帯同（海外試合、国内大会）を継続するとともに、JOC・日体協のアンチドーピングの重点施策助成事業としてハンドボール競技としての普及、テストを実施する。

●重点施策
1．スポーツ科学

(1)NA男・女選手及びジュニア選手の体力づくりを「コンディショニングマニュアル」の徹底普及をはかり、NA男子体重90kg水準に適応した筋力、全身持久力の向上及びにNA女子総合体力の向上に資する個人メニューのフィードバック並びに活用の確認を重視する。
(2)これがため、スピード持続能力トレーニング方法、栄養摂取、骨密度・体脂肪測定を実施する。

2．特別強化（スポーツ医科）
(1)NA男女選手のトップコンディショニングをはかるため、メディカルチェック・体力測定、メンタルトレーニングを継続実施する。
(2)JOC、日体協のアンチドーピングの事業に対応するとともにNA男女役員・選手及び指導者の知識・能力向上のため、主要競技会に（全日本実業団、全日本総合、全日本教職員）においてドーピングテストの実施について検討。

Ⅳ．指導委員会関係事業

●基本方針

1．指導者の育成
(1)コーチレフェリーシンポジウムの開催
(2)長期的展望にたった指導者育成計画の作成
(3)指導組織の整備
(4)研修制度の確立
(5)大学におけるC級コーチ専門教科認定コースの設置について

2．公認コーチ資格の義務づけ制度について
3．ビデオ教材の開発
4．海外派遣による研修と情報収集
5．全国指導者委員会の開催

●重点施策

1．長期的展望に立っての指導者育成計画
公認コーチ育成計画の長期計画
公認コーチ資格義務づけの計画
2．指導者組織の整備
指導担当者の連携
日本協会指導専門委員会－ブロック委員長－都道府県担当者
指導担当者と公認指導者との連携
3．研修制度の確立
指導者の資質向上の為の研修制度及び義務研修制度
4．平成9年度コーチレフェリーシンポジウムの開催
熊本において

Ⅴ．普及委員会関係事業

●基本方針

1．普及対策の確立
ジュニアチーム（小学生を中心として）チームの育成
地域スポーツとしての普及（週休2日制との関連をも考慮して）
協会レベルの普及
チーム創設マニュアルの作成
行政レベルでの普及
(行政レベルで活躍するハンドボール関係者に意見を聞く会を設ける)
学校体育レベルでの普及
マスターチームの育成
2．国民体育大会
参加資格、種別と参加チーム数等の検討
3．小学校の指導要領へのハンドボールの教材としての導入施策
4．中学生委員会関係
中学生専門委員会の活性化
生徒数減にともなうチーム数減の歯止め

●重点施策

1．2000年に向けて、普及の対策を確立し実行していく。
2．小学校指導要領の改定に向けて、文部省に働き掛ける。
資料の作成と働き掛け。(学校体育ハンドボール検討委員会)
3．小学校から老人まで、あらゆる指向の人が生涯ハンドボールを行える基盤の確立（大会の再編成）
小学生チームの育成
マスターハンドボールの位置づけ
4．中学生関係
全国中学校ハンドボール大会、JOC大会の充実

Ⅵ．審判委員会関係事業

●基本方針

1．上級審判委員の審査
2．審判員の資質向上
特に、資質向上は審判委員会の永遠の課題であるが、本年度は熊本世界選手権大会において、エリート・レフェリーのパフォーマンスを研修したい。
3．審判委員会の運営

●重点施策

1．JHAレフェリー・コーチ・シンポジウム
日本の審判委員会関係者・レフェリーを熊本に大集合し、世界のエリート・レフェリー達の笛について世界に遅れないよう研修する。そのための補助金。
2．審判委員会と強化委員会の連絡会
全日本チームが世界で戦うときにレフェリングが大切になるが、国内で全日本がどのような笛を要求しているのか、審判委員会と強化委員会の話し合いで、方向を決める。
3．審判強化費
国際審判委員を全日本の合宿に参加させ、全日本の強化の一助にするとともに、世界のハンドボールの認識のディスカッションをする。
4．国際審判委員海外派遣(別枠)
全日本チームに帯同し海外遠征に行かせ、諸外国の審判事情の調査研究。
5．トップレフェリー実技研修会
熊本で研修し日本の審判の方向が決まったのち、全国のトップレフェリーを集め研修会を実施する。

Ⅶ．企画広報委員会関係事業

●基本方針
1．全日本男女チームの活動の支援、環境づくり。
2．男子世界大会への準備
マスコミ、一般の人達へのPR
3．国際大会の企画

4. 報道機関との連携と正確な情報伝達

●**重点施策**

1. 男子世界大会への準備で成功させる。
2. 国際試合の企画及びフォロー
3. マスコミとの交流会実施
4. 全日本男女チームの写真及びPR
5. ハンドボールプレスリリースの充実（国内外）
6. 全日本地方合宿推進

Ⅷ. 日本リーグ運営委員会関係事業

●**基本方針**

1. 日本リーグの理念の具現化
①スポーツ文化として地域社会と融合したハンドボールの振興
②オリンピック、世界選手権など、国際レベルでの競技力向上（世界選手権・熊本を起爆剤に）
③次世代の子供たちへの夢のあるハンドボール環境づくり
リーグ常任委員会(年3回)、リーグ運営委員会（年6回）の位置づけ
2. ホームアンドアウェイの定着化と第三地域での開催のルールづくり
3. 選手登録制度の流動化、合理化（外国籍選手とIHF規則、国内選手の移籍）
4. 女子リーグ1・2部の1リーグ化の再検討
5. JHLの運営委員、監督、審判の海外研修
6. 収益事業の拡大

●**重点施策**

1. JHL前期（9月20日～11月24日）、後期（12月9日～2月1日）、プレーオフ（2月27日～3月1日）
2. 日本リーグ委員会の役割と指導力の強化（年3回開催）
3. 世界選手権・熊本（5月17日～6月1日）後のオーナー会議のあり方
4. JHLの移動の為の交通費の節減（ANAとの提携）
5. 各委員会の活性化、特に女子リーグ委員会、男子リーグ委員会の活性化
6. 2部リーグ・チーム数の増加活動
7. リーグのスター選手の育成と広報活動

Ⅸ. 財務委員会関係事業

●**基本方針**

本年度は、男子世界選手権熊本の開催の年度にあたる為、昨年度に引き続き日本選手団の強化、審判部門の充実に重点配慮すると同時に、この貴重な大会を活用しハンドボール界の活性化につながる事業に重点配分する一方、運営諸経費が昨年に続き増大しており、各部門において緊縮予算を取った。

●**重点施策**

1. 収入
①日本リーグ加盟各チームには昨年、一昨年に引き続き特別登録金の協力
②「世界選手権特集号」の発刊に伴う広告募集、実連とのタイアップ他
③フレンドシップ'97による個人レベルでの協賛金の募集
④各種団体、企業よりの補助金、寄付金の募集

2・支出
①各企業とも従来の数値にとらわれない予算の見直しとめりはりのついた事業計画の構築
②世界選手権を活用した事業への重点支出
レフェリー・コーチシンポジウム、フェスティバル大会、エキシビジョンマッチ東京大会（仮称）機関紙「世界選手権特集号」の発刊、タラフレックス2枚購入、全国的なP・R活動等

Ⅹ. 国際委員会関係事業

国際委員会は、第15回男子世界ハンドボール選手権大会の開催、また日本ハンドボール協会創立60周年の本年は、ヨーロッパ以外の最初の開催地日本での世界選手権大会、さらに、60周年の関連の国際大会等の成功にむけ努力したい。

特に、IHFの大会役員をはじめ世界各国から選手、観客、そしてメディア、医事等の多くの人々の来日に対して、大会の組織委員会と協力しあって万全を期したい。

行事日程及び予定
5月上旬／熊本壮行国際試合
5月17日～6月1日／第15回男子世界選手権大会参加
5月29日～5月31日／AHF理事会
7月31日～8月15日／第11回女子ジュニア世界選手権大会参加
8月下旬／60周年記念国際大会（関東地方）
11月30日～12月14日／第13回女子世界選手権大会参加予定（アジア予選日程未定）

Ⅺ. 機関誌委員会関係事業

●**基本方針**

登録チーム及び読者に対し、日本協会の動き、考え方などを正確に伝え、日本協会施策について啓蒙をはかる。そのために定期的にタイムリーな編集を目指していく。

●**重点施策**

1. 世界選手権熊本大会PR
2. 役員等による巻頭言
3. 協会だより
4. 各都道府県協会情報PR
5. 誌上審判講習会
6. 各連盟広報
7. 各種大会をタイムリーに広報

Ⅻ. 世界選手権関係

1. 1997年男子世界ハンドボール選手権大会の成功
①競技運営の調整
IHF・JHA・KHA及び事務局との協力
②報道関係の対応
国内外のメディア（TV・ラジオ・新聞等の連携）
③ドーピングに関する対応
検査及び検体輸送
2. 大会報告書の作成

以上

全日本実業団チャレンジ97を終えて
好試合が続出　中味の濃い大会に

全日本実業団ハンドボール連盟
副理事長　吉澤　力男

緑に抱かれたスポーツ空間

大阪市中央体育館で全国の予選を勝ち抜いて来た35チーム（男子32、女子3チーム）が参加し、「全日本実業団ハンドボール・チャレンジ97」が平成9年2月8日から11日の間開催されました。

平成9年は、ここなにわの地にとって「なみはや国体」が開催される記念すべき年でもあります。国体にそなえ、「大阪オリンピック」を願い新装されたここ中央体育館は、大阪市が世界一と誇っている最新施設であります。このようなすばらしい環境で幕をあけることになったチャレンジ97は、本年で28回目を迎え、前夜祭の表彰で25回出場者が3名も出る程、日本ハンドボール界にとってなくてはならない大会に成長して来たと言えます。前夜祭のパーティでは、大会関係者110名が参加し年一度の再会を楽しみ、明日からのお互いの健闘をたたえ合っていました。

さっそく試合の結果を報告しましょう。いきなり1回戦から好試合が続出し、番狂わせあり、延長あり、中味の濃い大会となりました。

《男子の部》

三景が4年ぶり3回目の栄冠に輝く

〈1回戦〉

アラコ29－11日新製鋼・呉鉄球会

本大会2年連続3位の好成績を残す日新製鋼鉄球会に新鋭アラコが挑戦した。アラコは日本リーグ2部5位の勢いどおり、前半立ち上がりから、ベテランで占める日新を、速攻、セットからのミドルシュートで圧倒した。日新もよく健闘したが、アラコの甲斐（元全日本選手）、元島を中心とするハツラツとしたプレー及び試合展開についていけず残念ながらシードチームの初戦敗退となった。

金沢市役所23－14トクヤマ

日本リーグ2部のトクヤマに対し、実業団の強豪金沢市役所、注目の一戦。若手中心のトクヤマ、市役所はベテランに新人がうまくかみ合い、前半立ち上がりからミドル、カットイン、速攻がさえ、中盤でリードを奪いそのまま後半へ入る。トクヤマの反撃が期待されたが、立ち上がり3連続得点されるなど日頃の元気さが見られず、シードチームの1回戦敗退となった。

大阪ガス20－16豊田自動織機

本大会の常連、第20回日本リーグまで長年お互いに技を競い、手の内を知りつくしている同士の対戦。いつもどおり多彩な攻撃でシーソゲーム、大阪ガス2点リードで折りかえす。後半、豊田は、中盤同点に追いつくが、決定力なくぬけ出せず、終盤ベテラン奥野の連続ゴールでつきはなされた。

〈2回戦〉

セントラル自動車29－12大阪ガス

2回戦屈指の好カード。ここ数年間低迷していた古豪セントラル自動車は、神奈川国体に向けての補強の成果が実りつつあり楽しみな対戦となった。オフェンスに決定力がない大阪ガスに対し、セントラルは立ち上がりからミドル、サイド、速攻でガスを圧倒、デフェンスでもガスを上まわり、前半10分で7点のリードを奪う。ガスも得意の速攻等でくい下るが、セントラルの良いところばかりが目立った試合であった。

三景31－11日鐵建材工業

本大会優勝経験はあるが、昨年シード落ちした同士の対戦。補強著しく日本リーグ2部で最後まで優勝を競った三景の勢いと、鎌塚選手（元全日本選手）以外決定力のない日鐵では、現在のチーム力がはっきり出た試合。日鐵は頼みとする鎌塚を封じられ、三景に奥秋を中心にいいように走りまわられ得点の山を築かれ打つ手もなく惨敗した。

優勝杯を受ける三景・上久保

以上の結果、準々決勝へ、シード5チームを含む8チームの駒を進めた。お互いに実力が接近し、日本リーグでも常に技を競っている同士の対戦もあり、手に汗を握る熱戦を展開した。

〈準々決勝〉

アラコ38－32金沢市役所

金沢市役所が、日本リーグ勢の壁を破れるか興味が集まった。前半立ち上がりから速攻をおりまぜた多彩な攻撃で点のとりあいとなる。22分まで全く互角の試合経過であったが、アラコは、元島のミドル、速攻等で8連続ゴールし8点のリードで折り返す。金沢は、松本、真田のミドル、カットインで必死の攻撃を展開し、終盤4点差まで追いあげたが前半のつまずきが大きくひびき惜敗した。金沢の若々しいファイトみなぎるプレーは本大会注目の的になった。

ケー・エフ・シー32－29セントラル自動車

第22回から日本リーグ2部に昇格したケー・エフ・シーと若手で

メンバー一新のセントラル自動車の注目される対戦となった。前半、ケー・エフ・シー・萩原、セントラル・芹沢のロングの応戦で若さに満ちあふれた好試合を展開した。前半6点差を背負ったセントラルは、渡辺、芹沢の活躍で徐々にまきかえし中盤1点差とし大いに場内を沸かせた。しかし、ケー・エフ・シーは、吉田のミドル等でつき離した。セントラルの後半の頑張りで非常に盛り上った試合になった。

トヨタ自動車27―23北陸電力

第22回日本リーグ1部昇格の北陸電力に対し、2部6位のトヨタ自動車の対戦。お互いに手の内を知りつくしており、立ち上がりから接戦となる。多彩な攻撃、好ディフェンスが続出し、3点リードで後半に入ったトヨタは、立ち上がりミドル、速攻で4連続ゴールし6点差とする。しかし、北電は、角田のミドル等でリズムにのり徐々に点差をつめ20分には2点差に追いあげるが、トヨタは、三輪、甲斐田のロング、ミドル、山の内サイドシュートで引き離しベスト4へ進出した。

三景26―24本田技研・熊本

日本リーグでも互角の成績を残した両チーム、予想通り立ち上がりから激しい攻防で一進一退をくりかえし同点で後半へ入る。後半に入っても前半同様、手に汗する好試合となる。三景は、中盤のリードを守り、終盤に入り残り4分2点差、本田のゴールキーパーがファインプレー、必死の攻撃に入るが得点ならず、逆に奥秋の連続ゴールにより本田は無念の敗退となる。

三景・山口のシュート

この結果、ベスト4進出は、中国、九州地区のアラコ、近畿のケー・エフ・シー・中部北陸のトヨタ自動車、関東の三景となり、どこが決勝に残るか全く予想のつかない対戦カードとなった。

〈準決勝〉

アラコ35（17―13、18―18）31ケー・エフ・シー

新鋭同士初の対戦、第22回の日本リーグを占う上でも注目された。前半は、アラコ元島、ケー・エフ・シー萩原のロング、ミドルの応酬、好デフェンスもあり好試合となる。しかし、中盤から元島がケー・エフ・シーゴールキーパーの弱点をついたミドルがよく決まり、9連続得点しアラコが頭一つリードし、後半に入る。後半、ケー・エフ・シーも萩原、木村、吉田が好オフェンスを展開、残り3分2点差まで追いあげる。しかし、勝負どころでアラコは、ゴールキーパーの好キープもあり、2連続ゴールを決め粘るケー・エフ・シーを振りきった。元島15得点、萩原11得点が称される。

三景32（19―8、13―11）19トヨタ自動車

本大会優勝5回のトヨタ自動車と優勝2回の三景、名門同士の対戦となる。お互い手の内を知り尽し、日本リーグではトヨタが2勝をあげている。

奥秋の7mシュートで先取点をあげた三景に対し、三輪の好リードからのミドルで点を重ねるトヨタ、お互いに中盤まで互角の展開となった。しかし、中盤から三景はミドル・速攻で連続得点、トヨタのミスに乗じ更に速攻で点をつみ重ねあっという間に点差を広げ11点差で後半に入った。後半、トヨタは山の内のサイドシュート等でまきかえすも三景の勢いをとめられず中盤で勝負は決した。三景奥秋11得点をあげ勝利に貢献した。

この結果、参加32チーム中3日間の熱戦を勝ち抜き優勝をかけて対戦するのは、新鋭アラコと名門三景の対戦となった。

〈優勝戦〉

三景37（18―16、19―18）34アラコ

三景は3回目、アラコは初の優勝を目ざした注目の対戦、日本リーグではアラコの2勝、前半、満を持していたアラコ甲斐のミドルに対し三景も奥秋のミドル、ロングシュートで実力伯仲の試合展開となる。前半残り3分、三景は、出口藤原の得点で頭一つリードして後半に入る。後半に入るや両チームの攻防は益々激しさを増し、

奥秋の連続ゴールに対し甲斐の得点で点差をつめるといった試合展開、最高の盛り上がりで終盤にもつれ込んだ。残り2分、三景2点リードでの見せ場で、三景上久保、山口が連続ゴール、アラコも久保、綿戸が連続得点し、オールアタックに入るも奥秋にとどめをさされ、三景が3回目の優勝をかざった。

敗れはしたが、準決勝の好成績をあげたアラコチームの健闘は大いに称えられ、次回優勝を達成することを願う。

《女子の部》

チャンピオン、イズミに果敢に挑戦
賞される自衛隊・ムネカタの健闘

女子は、本大会4回目で歴史が浅く、運営方針も固まっておらず3チームリーグ戦総当りで優勝を競うことになった。しかし、日本リーグ1部優勝のイズミチームの参加により大会は大いに盛り上がるところとなった。3試合のうち2試合を報告する。

自衛隊体育学校 21（13－6 / 8－11）17 ムネカタ

第1回ジャパンオープンハンドボールトーナメント大会第2位の自衛隊体育学校に対し本大会昨年2位のムネカタの対戦。自衛隊は高嶺を中心にスピードあふれるプレーを展開、これに対し、ムネカタはベテランを中心に地味ではあるが着実なプレーで試合は進む。自衛隊は中盤、ムネカタのシュートミスをつき5連続得点し、7点リードで後半に入る。後半、ムネカタは本来の動きをとりもどし、吾妻、桜井の健闘で中盤4点差までせまるが、自衛隊のディフェンスの前に差をつめることができず惜敗した。ムネカタの後半の頑張りで試合は盛り上がった。

イズミ 25（13－12 / 12－13）25 自衛隊体育学校

日本リーグ1部優勝チームイズミに自衛隊がどんな戦いを挑むか大いに注目された一戦。自衛隊は、立ち上がり持ち前のスピードを生かし、ミドルシュート、速攻で3点リード。これに対しイズミは10分よりエース林（日本リーグ最高殊勲選手）を投入、戦況はがらりと変り5連続ゴールで逆転、このままイズミがリードを広げるものと思われた直後、自衛隊は、高嶺、小林の連続ゴールで再逆転、イズミも林、洪のコンビで連続ゴールをする等、目を離せない戦況のまま後半に入る。後半に入るや、益々激しい攻防をくり返し、1点を争うシーソーゲームとなり、残り5分、林、洪のコンビで2点差、勝負あったかに見えた。しかし、鍛えぬかれている自衛隊は、井上のシュートで1点差とし、終了間際7mスローの同点のチャンスを握み、これを小林が決め、歓喜の同点、引き分けとなった。

以上のように、3試合ともに自衛隊、ムネカタがファイトあふれるプレーでイズミにぶつかった結果、好試合を展開したのは今大会の大きな収穫となった。この結果、優勝のイズミ、2位の自衛隊は全日本実業団選手権の出場権を獲得したが、3位のムネカタもその健闘ぶりが賞賛され同大会へ出場さすべく全日本実業団連盟の理事会に付議されることになった。

この3日間の大会を終えて感じたことは、ハンドボール関係者として、熊本県の世界選手権で、シドニーオリンピックで全日本チームが好成績をおさめハンドボール人気の上昇を願うことは当然ながら、ハンドボール界の基礎をささえる選手、チームの活躍の場を広げていくことの重要性、予選で敗れ、本大会に出場できなかった選手を含め、全国の実業団チームが、全日本チーム、日本リーグ勢の基礎をささえ、原動力となっていかなければと痛感させられた大会でもあった。現在、ハンドボール界でもプロ化が叫ばれ、岐路に立っているかもしれないし、時代の趨勢に従っていくことも重要なことではあるが、実業団連盟とともに、他の組織等が力を合わせそれぞれの場でベストを尽しハンドボール界を隆盛に導くことを信じ念願致します。

全日本実業団ハンドボールチャレンジ'97

試合結果

('97. 2. 8. ～11. 大阪市中央体育館)

[男子]

優勝　三景
2位　アラコ
3位　トヨタ自動車
4位　ケー・エフ・シー

3位決定戦

ケー・エフ・シー　25－27　トヨタ自動車

[女子]

優勝　イズミ
2位　自衛隊体育学校
3位　ムネカタ

[リーグ戦]

自衛隊体育学校	21－17	ムネカタ
イズミ	25－25	自衛隊体育学校
イズミ	26－14	ムネカタ

フレンドシップ'97協賛者名簿

3月5日現在で860名のご協賛をいただいております。以下にお名前を掲載し、感謝を表します。なお、引き続き協賛者を募っていきたいと考えておりますので、皆様のお近くの方にも世界選手権大会の告知と、協賛を呼びかけていただくようお願いいたします。

協賛いただいた方には以下の記念品が増呈されます。

1．'97男子世界ハンドボール選手権大会・熊本記念特製テレホンカード
2．世界選手権記念特集特別号

【北海道】　倉本紘一　迫茂　岡田豊夫　村瀬清史　加藤勉　松崎雅芳　田中勇　柏崎久子　清水勝　駒林昭三　三栖雅之　小越康雄　松喜美夫　大橋幹正　清水幸彦　小林礼　加藤慶仁　萩原英俊　【青森県】　太田尚充　鳴海満　川島卯太郎　福士義昭　渡辺信行　滝口太　諏訪正徳　藤本武　坪谷雅幸　斎藤雅浩　小川清吉

久保吉也　関本和之　対馬保子　平尾和浩　長谷川稲子　坂本吉次　【岩手県】　佐藤睦朗　太田利彦　大澤由和　谷藤勝美　池口杜孝　箱崎敬吉　大志田諭　佐藤正一　【宮城県】　千田文彦　加藤正彰　東北福祉大ハンドボール部　大河原浩気　加藤宏之　山路康男　斎藤節郎　菅間進　相沢義浩　堀籠二郎　高橋長偉　【秋田県】　阿部建　小山田富彦

石塚俊子　今野広一　藤原久美子　澤瀬仁美　梁田忠男　沢井春美　三浦高子　佐藤靖　鎌田定明　豊島慶男　長澤養一　半田忠　畠山弘子　松橋千秋　石橋正勝　田口純一　相川綾子　【山形県】　我孫子功　五島訓二　高橋善浩　本堂良寿　長南他一　仙道勝治　横尾英嗣　【福島県】　中島寿美　関川正道　今野雅益　佐藤雄次　宗形守敏

塩田幸男　遠藤通雄　森功　柳沼正義　佐藤嘉重　鈴木信夫　伊藤友彦　岡部新一郎　熊田栄一　松本清一　三浦正和　田中誠　最上大　伊東豊　菅野正行　三瓶昌久　村上俊一　菱沼一良　伏見士郎　渡部次郎　草野立雄　加藤岳郎　斎藤仁宏　田口侑義　上野覚　笠原高明　平川憲甫　小針三夫　佐川昌嗣　根本真　前川秀道

斎藤昌己　安部信夫　穂積清康　小沼慶二　石井義国　橋本春二　遠藤均　後藤義信　伊藤忠俊　小林和子　【茨城県】　筑波大OG会　筑波大OB会　田中汀子　小板橋潤　北村善夫　柏崎茂　富田拓　矢澤達司　岡本研二　大西武三　麻生フェニックス　住尾勉　大川潤　吉地正丈　砂長誠　山内孝雄　立原定宗　大村久　阿部富夫　橋本政孝　高野実　大月政明　笠間クラブ　塚田芳明　会田真一　鬼怒中学校ハンドボール部　玉造工業高ハンドボール部　水上一

関根邦夫　雨海左武郎　細谷安司　鈴木均　住谷稔　幡谷祐一　【栃木県】　益子房之助　大出治男　岸裕行　山下勝司　高崎弘　田澤孝一　上野喜美　小西正寿　山岸光子　中山富夫　高橋隆夫　細井操　山下勝俊　川田雄三　伊藤晋　武井一浩　川又克巳　住森憲治　河先修　菅間一　阿部徳之助　石田正彦　日下部高明　尾苗裕美　新開聖　【群馬県】　伊崎克巳　内藤静子　斎藤光男　越石信次　永井正　宇佐美幸彦　小林進　宮下鎌治

【埼玉県】　井田一博　井上素行　藤間純子　木野実　岡村昭二　佐藤美由紀　入江直子　萩原初江　竹野奉昭　塚田咲枝　佐藤道子　岡村寿子　三浦登志雄　佐々木則子　高畠和江　渡邉直美　持田マサ子　渡辺叡子　松本隆栄　杉本友美子　土屋勇太郎　高橋衛　高橋信子　玉田和代　中村恭子　中川幸子　中野ジュンコ　勝沼由季　菅野富男　山本興道　西山逸成　岩本明　勝倉寅男　川畑和司　篠江裕　五十嵐幸治　広瀬喜代香　金賢玉　金丸淳子　船津[illegible]生子

川村純子　後藤恵理　佐々木愛　永尾倫子　鵜狩恵美子　鎌田香名子　佐久川ひとみ　千葉真紀　穂積知紘　結城香織　【千葉県】　木内兵太郎　木内久美子　山上修二郎　田村幸雄　山本伸二　内田明克　氷海正行　稲生茂　松本滋　仲田稔　辻祥雅　香取秀紀　本間誠章　上中範子　河村レイ子　清水智功　五味崇恵　河村英明　聖徳大付中高ハンドボール部　植村彰　柳田睦子　三井信　東根明人　猪股俊二　池田安亘　山田いく子　永野幹雄　日根野寛　【東京都】

佐藤 佳子
江成 元伸
兼子 真
高橋 健夫
田島 悦子
高橋 英次
後藤 登
市原 則之
今井 敏之
岩本 任弘
大塚 文雄
菅原 恵子
栗岩 淳一
佐々木 博子
今井 昭子
福地 賢介
脇若 正二
荒木 茂徳
藤原 侑
飯塚 政子
中澤 重夫
佐藤 明美
滝口 三郎
小松 正武
中嶋 治美
羽田 裕一
門井 隆治
矢島 雅明
国立高校ハンドボール部
本多 正樹
佼成学園女子高ハンド部
齋藤 博
落合 由津子
佐野 和夫
駒大ハンドボールOG会
高橋 由紀子
村野 静子
堀江 成典

碓井 裕史
永田 淳子
安藤 純光
石河 廣安
丹野 純一
近藤 金博
勝 繁夫
兼田 佳博
今井 善洋
加藤 祐策
岩佐 又次
水越 元子
川上 整司
大野 金一
渡辺 慶寿
寺田 由紀子
太田 衆一郎
花野 誠一
細木 建夫
綿貫 敏雄
綿貫 紀子
川口 定男
東京経済大ハンドボール部
下村 亘
張 生
塩川 安賢
小泉 功
豊田 直平
東京工専ハンドボール部OB会
世田工送球会
関 和生
石井 義久
緑川 正博
原 信雄
エモックエンタープライズ
小峰 一晃
橋本 永治
東京学芸大学男子

ハンドボール部
【神奈川県】
真田 元
村松 英美
近久 紀人
松井 正敏
大城 和彦
神尾 陽子
川村 久子
山田 啓太
西本 千賀子
玉井 晴雄
澁谷 正道
新井 千鶴子
齋藤 達也
佐分 正典
村松 誠
植村 繁
若崎 重武
南木 雅弘
三浦 公
財部 重彦
若月 博
黒澤 邦夫
堀越 進
中村 吉宏
森川 利昭
宮原藤 支男
海保 和夫
栗城 紘一郎
池田 茂郎
【山梨県】
千野 恒夫
清水 正
植野 保
清水 剛
斎藤 実
栗原 富貴子
三枝 慶彦
窪田 善文
平岡 秀雄

興石 順一
窪田 正典
菊島 哲也
天川 正次
小池 道春
塩山ハンドスポーツ少年団
雨宮 義利
【新潟県】
小松原 金二
大矢 三郎
ホテル新潟
【長野県】
青木 崇
加藤 雅之
中澤 文子
中澤 正巳
手塚 伸
服部 博幸
春原 紘一
中村 栄孝
【富山県】
沢井 淳一
嶋田 重春
中川 周三
山口 吉弘
吉水 慎一
嶋田 新太郎
徳前 哲人
金原 至
大谷 正則
村岸 治幸
中山 圭三
【石川県】
二口 昭夫
米谷 恒洋
荷川取 義浩
川端 孝一
牧 浩二
古橋 幹夫
酒谷 信彦

曽谷外 茂雄
八日市屋 進
安部羅 大造
浜野 大助
北岡 克彦
井川 邦彦
【福井県】
越田 義昭
志々場 修二
藤井 善彦
竹野 誠司
中村 勝司
左司 勝三
竹野 秀輝
(株)フクセン
武生東高ハンドボール部
福井商校ハンドボール部
東 哲郎
今村 豊
【静岡県】
鈴木 義紀
片瀬 喜代次
田中 弘子
清水 保雄
稲森 照男
片瀬 喜代次
斎藤 多
坪内 伸浩
栗山 聡
寺田 嘉一
細沢 覚
佐塚 浩徳
石川 直樹
高橋 久仁和
仲山 靱恵
【愛知県】
中島 正貴
宇津野 年一
早川 弘三

村木 啓作
角 紘昭
梅村 忠雄
早川 真澄
横地 宇吉
稲石 三二
新井 友彦
鳥居 晴久
浅野 克彦
栗脇 疑
矢野 哲二
小野 正雄
禰津 行雄
野田 清
柳川 清
藤中 憲二
花輪 博
柳川 実
中本 満明
蒲生 晴明
清崎 隆
林 浩司
佐藤 光夫
土川 一樹
中本千 和紀
名取 和成
森山 稔
富石 淳
田中 保彦
高村 誠一
内藤 浩樹
林 康一
林 珍錫
末岡 政広
佐藤壮 一郎
秋吉 哲男
植木 寿憲
濱野 健一
阿萬 隆文
藤井 孝志
酒勾 康二

米倉 巧
荻本 将勝
清水 博之
冨本 栄次
松本 光則
柴田 大介
日原 一幸
中谷 友和
南川 裕孝
金子 尚司
笹西 直大
和田 宏治
稲生 嘉宏
村松 清
溝口 博一
市川 修
小林 きよみ
小林 ますみ
吉金 勇
松原 英司
河合 龍二
神尾 心一
山田 透
平松 学
山田 幸男
河合 千丈
太田 耕治
伊藤 和夫
正色スポーツ少年団
西川 勤也
山崎 正利
河合 弘
宇栄原 幸政
稲住 晋二
日比登 史男
鈴木 淳藏
渡辺 貞彦
【三重県】
笹川ハンドボール少年団

栗本 士郎
田村 金子
田口 隆
鈴木 義男
石井 勝
山村 敏之
藤井 孝一
橋本 行弘
木下 憲司
高木 俊明
弥吉 圭一
丹羽 昭文
後藤 信幸
茅場 清
長谷川 貴洋
谷村 貴郎
加藤 圭介
笹浪 重俊
広政 宜孝
平松 茂雄
松原 晋哉
中里 賢二
四方 篤
日原 正和
新實 俊夫
平賀 達也
西村 仁志
夏目 真治
【岐阜県】
斎藤 和義
福田 直行
森川 俊章
杉本 真一
大洞 五十七
上野 毅
加藤 隆広
今井田 康雄
上妻 忠夫
峰岸 正之
豊島 康彰
古宮山 喜邦

吉田　元
鈴木　義久
中島　康

【滋賀県】
北川　裕之
尾本　和男
秋永　昭治
佃　幸太郎

【京都府】
審　愛玲
吉田　博二
杉本　洋一
小西　博喜
藤本　昇
西田　充
橋本　善次
山中昭治郎
堀田　靖人
西村　成晴
岸本　光夫

【大阪府】
東　嘉伸
服部　秀人
四方　洋子
森本　正毅
望月伸三郎
緒方　嗣雄
小森園多恵子
山中善之祐
幸田　良一
塩川正十郎
神田　清
井上　真也
戸田　栄一
村田　弘
花畑　平男
松尾信一郎
北岡　大覚
家永　昌樹

久保　義雄
木田　武夫
岩佐　邦彦
繁田　順子
渡邊　巖
吉田　正明
佐谷　光一
浅井　隆志
吉田　敏明
吉沢　力男
近藤　善重
福島　富造
寺内　哲之
村上　善英
浅井　安子
宍倉　保雄
光島　磯雄
村尾　亮
近畿高体連
ハンドボール部
山崎　武
土井　秀和
榎原　嘉之

【兵庫県】
西澤　倫雄
殿水　幸雄
長　靖磨
大原　康昇
小島　正男
花房　保
岡田　茂夫
丸茂　康子
北山　隆
藤原　豊
村上　潔
浜田　浩嗣
泉　滋
山中　正俊
樫塚　正一

早川　清孝
石井　信行
馬場　保夫
島崎　政治
狩野　幸介
幸田　末之
柿木　国夫
坂本　敏雄
井上　亮一
荻田　勝紀

【奈良県】
中川　敏文
西村　佳干

【和歌山県】
笠中　喜次
尾高　義彦
能木　進
山田　進
串野　寛
田中　秀和

【鳥取県】
松原　紀機
石黒　豊

【島根県】
宇津　徹男
斎藤　隆
船江　昭光

【岡山県】
藤井　俊朗
森安　昭雄
浅香　又彦
小嵐　昭子
中山　学
片山　透
大熨　嘉彦
黒住　宗晴
山下　知巳

【広島県】
峠野　光伸

浜本　忠志
坪根　敏宏
加川　厚
杉山　裕一
小沢　勝利
山口　修
松谷　丈裕
飯田　一郎
高田　浩志
中山　剛
田中　雅彦
多田　恵久
松本　暢
B.R.BRAMANS
堀田　敬章
河原　隆雅
藤永　清
津川　昭
戸田　政弘
藤本　康生
井藤　英忠
楢原　隆雄
奥田　新治
玉村　健次
長沢　純平
酒巻　清治
西元　義昭
槇岡　辰男
山下　泉
不破　亨
草井　由博
スタンドレモン
奥川　和永
東　昌弘
山西　泰明
高西　宏昌
平田　幸男

【山口県】
白井　謙次

飯田　弘昌
岡井　幸由
青木　操
山根　安彦
明石　雄次
増田　雅夫
宮崎　太郎
古富　博
溝部弥三郎
常田　隆
中村　時雄
柳井　文治
田原　正美
大片恵美子
原井　進
角　直樹
加藤　晃

【香川県】
楠原　敏明
大谷　和彦
小早川道孝
藤沢　秋義
佐藤　昌弘
松原　忠
香川県ハンドボール協会
横山　和司
上濱　清司
香川選抜チーム
末澤　光夫
河合　哲
片岡　幸夫

【徳島県】
半田　忠史
川島　文代

【愛媛県】
越智　武
河平　武夫
野中　聴

伊藤　演哉
高橋　満年
毛利　尊志
長野真太郎
大亀　裕
正岡　勝英
川田　哲也
竹村　久晴
松原　久士
松原　誠起
佐藤　実
山崎　幸夫
田中　達男
堺　賢治
今井　茂宏
森田　政志
越智智紀子

【高知県】
岡本　憲和
岡村　博三
清水　修
熊沢　徹郎
川崎　英雄
片岡　修一
高橋　良忠
青木　啓司
武田　末男
沢田　哲雄
有光　正憲
井上　敏
高橋　卓也
葛目　憲昭
佐賀　厚幸
谷脇　敦
成岡　真
南クラブ
高知南高男子
ハンドボール部
高知南高女子

ハンドボール部
岡豊高男子
ハンドボール部
岡豊高女子
ハンドボール部
小松　和久
宮崎　光一
高野　卓悦
中川　利彦
高知東高
ハンドボール部

【福岡県】
田中　守
松本　浩志
古賀　信男
稲積　茂紀
篠崎　省吾
森山　正治
中西　敬一
中川　英二
大場　正志
新荘　悌男
和佐野健吾
森川　嘉人
日野祐一郎

【佐賀県】
土井　垣
佐賀農業高
ハンドボール部
高木・健恵
吉田　和治
貞島　早苗
甲斐　忠義

【長崎県】
石井　道義
原田　国男
池田　寅勝
今村　豊嗣
海自佐世保地方隊

新井　善文
諫早乳業株式会社
和田　旬功
林　信義
河田　誠

【熊本県】
熊本クラブ
村上　建二
高田　憲之
矢住　嘉孝
横山紘二郎
大島　隆志

【大分県】
疋田　忠
横瀬西ハンドボールクラブ
生野　彰雄
佐藤　喜一
川西　良廣
福田　稔

【宮崎県】
坂元　平
宮元　章次
佐藤　一一

【鹿児島県】
井料たか子
本田　娟一
蒲山　尚志
谷川　洋造
岡山　明弘
近藤　實

【沖縄県】
荷川取孝志
新垣　健
嘉陽　宗陰
東恩納盛英
佐久本　浮

1997年 男子世界選手権大会　熊本だより

5月17日開幕
日本VSアイスランド戦でスタート!

5月17日

あなたがサポートする国の国旗を持って、世界の人々と友達になる日です。

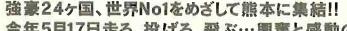
PM5:15、興奮と感動の開幕。

「ようこそ、熊本へ!」アジア初の開催地、日本、そして熊本の魅力を全世界へ向けてアピールする、その時がやってきます。会場となるパークドーム熊本では、あちらこちらで言葉と国境を越えたあたたかいふれあいと友情が生まれることでしょう。

6月1日

あなたがサポートする国が世界の頂点に立つ日です。

世界チャンピオン決定。

過去の大会ではヨーロッパ勢が上位を独占。しかし今大会ではどの国が優勝するか、全く予想がつかないほど実力が伯仲しているといわれています。決勝戦は、超満員のサポーターたちの熱狂的な応援の中、世界のスーパープレーが堪能できることでしょう。

世界大会記念切手　80円発行
熊本城を背景にハンドボールと地球を描いたデザインで4月18発売

試合スケジュール

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
	パークドーム熊本	熊本市総合体育館	山鹿市総合体育館	八代市総合体育館
5月17日(土)	17：15 開会式 19：30 ｱｲｽﾗﾝﾄﾞ－日本			
5月18日(日)	15：00 ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ－リトアニア 17：00 ﾕｰｺﾞｽﾗﾋﾞｱ－日本 19：00 ｱﾙｼﾞｪﾘｱ－ｱｲｽﾗﾝﾄﾞ	15：00 フランス－イタリア 17：00 ノルウェー－大韓民国 19：00 ｽｳｪｰﾃﾞﾝ－ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ	15：00 ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ－ブラジル 17：00 チェコ－ｴｼﾞﾌﾟﾄ 19：00 ｽﾍﾟｲﾝ－ﾁｭﾆｼﾞｱ	15：00 ロシア－ｷｭｰﾊﾞ 17：00 ｸﾛｱﾁｱ－中華人民共和国 19：00 ﾊﾝｶﾞﾘｰ－モロッコ
5月19日(月)	13：00 ﾕｰｺﾞｽﾗﾋﾞｱ－リトアニア 15：00 ｱﾙｼﾞｪﾘｱ－ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ			13：00 中華人民共和国－ロシア 15：00 モロッコ－ｸﾛｱﾁｱ
5月20日(火)		13：00 フランス－大韓民国 15：00 ｽｳｪｰﾃﾞﾝ－ノルウェー	13：00ブラジル－チェコ 15：00 ｴｼﾞﾌﾟﾄ－ｽﾍﾟｲﾝ	
5月21日(水)	19：00 日本－ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ	18：00 イタリア－ノルウェー 20：00 ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ－フランス	15：00 ﾁｭﾆｼﾞｱ－ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ 17：00 ｽﾍﾟｲﾝ－ブラジル	18：00 ロシア－モロッコ 20：00 ｷｭｰﾊﾞ－ﾊﾝｶﾞﾘｰ
5月22日(木)	13：00 リトアニア－ｱﾙｼﾞｪﾘｱ 15：00 ｱｲｽﾗﾝﾄﾞ－ﾕｰｺﾞｽﾗﾋﾞｱ	13：00 ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ－イタリア 15：00 大韓民国－ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	13：00 ｴｼﾞﾌﾟﾄ－ﾁｭﾆｼﾞｱ 15：00 チェコ－ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ	13：00 中華人民共和国－ｷｭｰﾊﾞ 15：00 ｸﾛｱﾁｱ－ﾊﾝｶﾞﾘｰ
5月23日(金)	休　み			
5月24日(土)	15：00 ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ－ﾕｰｺﾞｽﾗﾋﾞｱ 17：00 ｱﾙｼﾞｪﾘｱ－日本 19：00 リトアニア－ｱｲｽﾗﾝﾄﾞ	15：00 大韓民国－ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ 17：00 ノルウェー－フランス 19：00 ｽｳｪｰﾃﾞﾝ－イタリア	15：00 ブラジル－ｴｼﾞﾌﾟﾄ 17：00 チェコ－ﾁｭﾆｼﾞｱ 19：00 ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ－ｽﾍﾟｲﾝ	15：00 モロッコ－中華人民共和国 17：00 ｸﾛｱﾁｱ－ｷｭｰﾊﾞ 19：00 ﾊﾝｶﾞﾘｰ－ロシア
5月25日(日)	15：00 ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ－ｱｲｽﾗﾝﾄﾞ 17：00 日本－リトアニア 19：00 ﾕｰｺﾞｽﾗﾋﾞｱ－ｱﾙｼﾞｪﾘｱ	15：00 イタリア－大韓民国 17：00 ノルウェー－ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ 19：00 フランス－ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	15：00 ﾁｭﾆｼﾞｱ－ブラジル 17：00 ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ－ｴｼﾞﾌﾟﾄ 19：00 ｽﾍﾟｲﾝ－チェコ	15：00 ｷｭｰﾊﾞ－モロッコ 17：00 ﾊﾝｶﾞﾘｰ－中華人民共和国 19：00 ロシア－ｸﾛｱﾁｱ
5月26日(月)	休　み			
	決勝トーナメント			
5月27日(火) ベスト16	13：00① A[1位]－B[4位] 15：00③ B[3位]－A[2位] 18：00⑤ A[3位]－B[2位] 20：00⑦ B[1位]－A[4位]	13：00② C[1位]－D[4位] 15：00④ D[3位]－C[2位] 18：00⑥ C[3位]－D[2位] 20：00⑧ D[1位]－C[4位]		
5月28日(水)	休　み			
5月29日(木) ベスト8	18：00⑨ ①勝者－⑥勝者 20：00⑪ ③勝者－⑧勝者	18：00⑩ ②勝者－⑤勝者 20：00⑫ ④勝者－⑦勝者		
	順位決定戦			
5月30日(金) 順位決定戦	13：00⑬ ⑩敗者－⑨敗者 15：00⑭ ⑪敗者－⑫敗者			
5月31日(土) 順位決定戦 及び準決勝	16：00⑮ ⑭勝者－⑬勝者 (5－6位) 18：00⑰ ⑨勝者－⑩勝者	16：00⑯ ⑬敗者－⑭敗者 (7－8位) 18：00⑱ ⑫勝者－⑪勝者		
6月1日(日) 3位決定戦 決勝戦	14：00⑲ ⑱敗者－⑰敗者 16：00⑳ ⑰勝者－⑱勝者 閉会式(パークドーム熊本)			

※海外のテレビ放映などの関係で試合時間が変更になることもあります。

予選リーグ・組み分け

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
ユーゴスラビア	フランス	スペイン	ロシア
アルジェリア	スウェーデン	チェコ	クロアチア
サウジアラビア	ノルウェー	ポルトガル	ハンガリー
日本	イタリア	チュニジア	キューバ
アイスランド	アルゼンチン	エジプト	中華人民共和国
リトアニア	大韓民国	ブラジル	モロッコ

谷口尚代選手全日本女子ジュニアとしての今後

全日本女子ジュニアチーム　監督　井上　亮一

20年に1人出るか出ないかの選手であり、ヨーロッパの選手にも劣らない体格を持ち、足さばきも非常にスムーズであり、器用なところが随所に見られ、近い将来、全日本女子の課題であるロングシューターとしての救世主的存在になる可能性を十分秘めている選手であることは間違いのないところである。今後のジュニア活動の中で、ナショナル選手としての将来に向け、多くの国際試合の経験は勿論の事、全日本選手としての心構え等の多くの事がらを一つ一つ克服し、自分自身にのしかかる重いプレッシャーは並大抵ではないと思いますがそれをはね退け、アジアに通じる、いや世界に通じる選手として、大きく成長していただきたい。その為にも我々ジュニアスタッフとしては責任を痛切に感じながら育成・強化に全力を尽くしナショナルに継げるよう頑張りたいと思います。

全日本の星になれ

㈶日本ハンドボール協会女子強化委員　佐々木　英明

私が初めて彼女に出会ったのは平成7年度全国中学校ハンドボール大会でした。まずプログラムを見て、福井県大東中学校、10番・谷口尚代・身長178cm、なんと背の高い選手だと思い、早く会いたいと思う気持ちになり、すぐさま試合を見に行きました。彼女はポストプレーヤーとしてゲームに出ており、やはりまだ中学1年生のプレーでした。しかし、私自身が中学生女子のプレーヤーで、これほどの大型選手とは出会った事はありませんでした。何か感激したような思いで、来年度の全中大会で出場してほしいという気持ちになりました。

1年後の夏、場所は岐阜県での全国中学校ハンドボール大会、彼女は出場しておりました。一回り大きくなっており、身長も183cmで、私はまるで恋人に会えるような気持ちで立会人の席に座り、彼女をおいつづけました。試合が進むにつれ、昨年の彼女の姿はなく、1年間で成長した姿がありました。何とロングシュートを10m近くから、キーパーの足元を打ち抜くすごいシュートを繰り出し、パスワークも良くなり、私自身1年間でここまでの選手になるとは想像もできませんでした。この時、谷口さんなら、これからの努力では必ず全日本のエースになれるのではないかという思いが湧いて来ました。

そして、第5回JOC・ジュニアオリンピック・ハンドボール大会でも活躍し、チームも見事全国優勝を果たし、彼女の名前も全国に鳴りひびき、来年の大会が待ちどおしくなっております。

又、これからは全日本女子ジュニアのメンバーでもあり、大変忙しくなると思いますが、全国の中学生が応援してくれています。頑張って下さい。

ジュニア候補に選ばれて

大東中ハンドボール部顧問　高野　郁代

中学2年生の彼女（谷口尚代さん）にとってジュニア候補に選ばれた事は、大東中の谷口尚代から将来の全日本を背負う選手になるための意識を少しでも高めるチャンスだと思います。彼女自身、たった1回の合宿に参加させてもらったことで、周りから期待されているという自覚と、自分のプレーに対する自信がついてきたようです。帰りの電車の中でジャパンのTシャツを喜びながら胸に当て、「また参加したい。」と言う彼女を見て、本当に良かったと心から思いました。同時にこれから彼女をどう育てていったらいいか、私自身不安を覚え、やりがいを感じたのも事実です。多感な中学生の時期にいろいろな体験ができる事を、プレッシャーではなく、励みと考えてくれたらと思っています。

2月26日、日本ハンドボール協会から野田清様、ジュニア監督井上亮一様、日本ハンドボール協会強化委員（中体連）佐々木英明様3名が学校まで来て下さいました。たった1人の中学生のためにここまでしていただいたことを、両親及び本人も大変喜んでいます。小さい頃から長身をコンプレックスとしか思えなかった彼女が、誰にも真似できないものを身に付け、自分に誇りを持てたらすばらしいことです。JOC優秀選手の中にも将来ナショナルチームに入りたいと思っている生徒がいます。そんな生徒達にも、全日本が夢ではなく、努力次第で自分にもつかめるものなのだ、という希望を与えてほしいと考えています。

今後彼女には、将来のナショナルの一員となるべき自覚と技術を自分の努力で身に付けてほしいと思っています。まだまだ未熟だけれど、常に前向きに努力している彼女にとってこの目標は、自分のためにもチームのためにも大きなものをもたらしてくれると思います。しかし、やはりチームメイトの事を一番に考えられる選手でいてほしいと願っています。そして、将来日の丸を胸に、堂々と外人選手のデフェンスの上からシュートを打てる様な日本のエースになってくれる事を心から祈っています。世界に通用するスケールの大きな選手に…。

最後に、彼女に出会えたことを感謝し、私自身を見失うことなく大切に育てていきたいと思っています。

全日本男子ジュニア候補 韓国遠征合宿

監督 高橋 精一 桃山学院高校
コーチ 松井 幸嗣 日本体育大学
〃 玉村 健次 湧永製薬
平成9年2月15日～20日

【成果】

韓国、尚武チームと合同練習を行なう事ができ、実際目で見て肌で感じるトレーニング内容が特に良く、練習試合でも最終日の前半などほとんど互角のゲームが出来た事で良い成果が生まれた。

【ゲーム】

■2月17日
全日本Jr 9―14尚武（20分）
全日本Jr 8―20尚武（25分）

■2月18日
全日本Jr 13（5―19、8―17）36尚武

■2月19日
全日本Jr 20（13―17、7―16）33尚武

【今後の課題】

大型チームである今回のジュニアチームで、長所・欠点が数多く把握でき、今後の課題（技術面基礎、メンタル面ファイティングスピリットの欠如等）が出来た事は、今回の遠征合宿は、良い練習が出来たと感じています。次回の予選までの残された期間を、各大学、各高校、日本協会の協力を是非得て最低でも1～2ケ月に1回5日～7日の強化合宿等を実施していただきたいと思っています。

スタッフ一同、悔いの残らない最強のチーム作りをして予選へ挑みたいと考えておりますのでよろしくお願いします。以上

●責任者
高橋精一、松井幸嗣、玉村健次

韓国遠征に参加して

・・・・・高木　尚

僕は、昨年に続いて、今回もこの韓国遠征に参加しました。……だから、自分から積極的に、チームを引っ張り、またまとめていこうと思って参加しました。けれどもそれを実行するのは大変難しかったです。最終のゲームでやっとチームらしくなったぐらいで、いち早く、チームとしてまとまらせることができませんでした。

プレーの方では、ロングシュートに対しての反応と読みがまだ足らなかったと思いました。それに、サイドシュートに対する位置取りが、まだ少々ずれる時がありました。でも、自分のプレーでシュートを止めることができたことも多かったので自信になりました。

しかし、結果的に試合はすべて敗退。その理由の第一が、私達は「日の丸」を付けていることに対する自覚のなさによるものでした。自分もまだまだ足りませんでした。

大学に進んで続ける訳ですがこれからは、ジュニアのメンバーの一員として、自覚を忘れず努力したい。この様な経験をさせていただきありがとうございました。また大学で、努力していきます。

・・・・・前田　誠一

今回の韓国遠征で、自分の今の力がはっきりわかった。「今のままでは、大学、アジアに行っても通用しない。」と学校の先生に言われているが、自分でも自覚することができた。10mで待つディフェンス、キーパーの威圧感、先生に指示されても、アラブでのアジア予選のように何もすることができなかった。

何本か試合をやったが、予想通りのひどい結果だった。試合をする前から、韓国の名前と、選手の体つきをみて、負けていたと思う。だから、シュートにもいけなかったし、フェイントもかけずに、ただ、パス回しになっていた。自分の仕事であるシュートを打たなければ、ほかの人達も生きないし、ポストへのパスも通らない。

日本なら、自分の名前だけで前に出てきてくれるけど、ここは韓国で、誰も自分のことを知らない、ということを、試合が終わった後に、試合を思い出しながら気がついた。この遠征で学んだ自分の足りないところを、日本に持ち帰り、2年後のアジア予選までに、自分のチームでも、つねに課題を持って行動し、生活面でも日の丸を胸につけているつもりで、チームの役に立てるようにこれからも、がんばっていきたい。

選手	氏名	所属名	生年月日	身長	体重
1	向谷内祥元	高岡向陵高	1980. 5.20	192	80
16	高木　尚	北陸高校	1978. 4. 7	189	78
12	千石　栄治	小松工業高	1979. 3. 8	190	75
2	坪　拓也	野辺地高校	1978. 4.10	179	69
3	亀田　敦	不来方高校	1978. 4. 3	174	67
4	佐藤　敦	仙台育英高	1979. 1. 1	183	73
5	窪小谷貴浩	学法石川高	1978. 8. 7	195	95
6	太田　芳文	伊奈高校	1979.12.28	186	75
7	小倉　学	霞ヶ浦高	1978. 6.27	190	85
8	北沢　康人	浦和学院高	1978. 5. 5	177	66
9	前田　誠一	〃	1979. 5. 3	183	74
10	蔵野　大輔	金沢市立工	1977. 6.24	183	72
11	北島　嘉之	北陸高校	1978. 5.21	181	70
13	石川　博之	此花学院	1978. 5.16	173	63
14	大角　昌央	松山工業高	1978. 7.10	184	71
15	山口　康弘	瓊浦高校	1978. 8.29	175	66
17	忠願寺信二	大分電波高	1978. 5.11	172	68
18	安達　和芳	〃	1978. 6.29	173	65
19	西ノ村和信	都城工業高	1978. 6. 8	181	67
20	親富祖政行	興南高校	1978. 7.30	179	70

女子ナショナルジュニアチーム選手団

監督　井上　亮一　夙川学院高校
コーチ　志賀　良弘　大和銀行
　　　　平賀　達也　暁学園高校

海外遠征を7月に実施、世界選手権に向けて武者修行と国際試合の中で全日本選手として国際感覚を身につける、そして世界選手権大会では目標をベスト8におき全力でベストを尽くし、今後ナショナル選手として継げるよう最大の努力をする。

世界女子ジュニア選手権に向けて

・・・・・井上　亮一

1月21日より24日迄の期間、ナショナルジュニアチームとして最終選考を終了し、21名の選手を発表した。

本年は第11回世界女子ジュニア選手権大会が、アイボリーコーストで（7月31日～8月15日）で開催され、上位入賞に向け強化活動を計画実施する。

強化合宿を熊本・滋賀・兵庫で実施、ナショナル選手として意識を高め、自覚を持って練習に励みつつ強化をはかる。

女性レフェリーが技術を磨く
(「列島縦断」参照：写真提供・沖縄タイムス社)

選　手	氏　名	所属先名	出身校	身長	体重
G.K	吉田　由香	オムロン	熊本国府高	176cm	67kg
	飛田季美子	大和銀行	大阪福島女子	170cm	65kg
	田中　麻美	大阪体育大	洛北高校	171cm	65kg
C.P	山下　麗子	大和銀行	大谷高校	170cm	65kg
	巽　奈歩	〃	大阪福島女子	168cm	61kg
	稲吉　希穂	シャトレーゼ	水海道第二高	162cm	59kg
	濱田　香織	北国銀行	小松商業高	161cm	60kg
	中村　友美	〃	福井商業高	167cm	59kg
	斉藤　香	四天王寺高	――――――	167cm	61kg
	山崎　理恵	立山アルミ	大阪福島女子	158cm	57kg
	佐久川ひとみ	大崎電気	浦添高校	161cm	60kg
	穂積　知紘	〃	夙川学院高	169cm	63kg
	松永恵美子	ジャスコ	小松商業高	164cm	57kg
	村上　麻美	筑波大学	福井商業高	166cm	64kg
	菅谷　美枝	ブラザー工業	名短付属高	170cm	65kg
	酒井久美子	大阪教育大	福井商業高	165cm	55kg
	山田　永子	名短付属高	――――――	160cm	54kg
	村上美代志	日本体育大学	福島緑ヶ丘高	160cm	54kg
	坂元　智子	夙川学院高	――――――	171cm	70kg
	早船　愛子	氷見高校	――――――	165cm	53kg
	谷口　尚代	大東中学	――――――	183cm	64kg

沖縄県の巻

地域リーグの果たす役割
―沖縄女子リーグ発足にあたって―

沖縄ハンドボール女子リーグ実行委員長　三輪　一義

昨年の10月より4ケ月に渡って開催された嘉陽宗陰杯争奪第1回沖縄ハンドボール女子リーグが、2月2日をもって成功裡に閉幕しました。この大会は企画、資金、労力、レフェリー等の運営を参加選手である女性自らの手で進めていった大会でした。この大会の理念・手法をまとめることがハンドボール関係者の何らかの参考になればと思います。

この女子リーグでは、普及（活性化）・運営・審判・報道（広報活動）の4つを大きな理念としています。

①普及（活性化）について

競技種目を問わず、一般女子チームの育成の困難さは周知の所となっていますが、沖縄県におけるハンドボール競技もその例に洩れるものではなく、10年前の沖縄国体時には成年女子のメンバー12名を集めるだけでも苦労した経緯があります。しかし、その後の県協会関係者の努力によって、現在は高校のOGチームを中心に一般女子クラブが10チーム、大学チームが2チーム、計12チームも登録する状況になりました。ただ、県内での関係大会は沖縄県総合選手権（2月）、沖縄県一般選手権（4月）、国体予選（6月）しかなく、場合によっては年間の公式試合が3試合というチームもあり、また、大会のない時期になると練習をしなくなるチームもあるのが現状でした。そこでチーム活動を活性化するとともに、高校・大学卒業後もハンドボールを楽しむことができる受け皿作り（競技人口増）を狙いとして女子リーグが発足しました。

今回の女子リーグ参加チーム数は12チームであり、高校を卒業したばかりの同期生で構成されたヤングチームから、平均年齢35・7歳のママさんチームまで、計182名の参加選手となりました。

②運営について

この沖縄女子リーグは企画・運営（資金、労力、レフェリーなど）を参加選手である女性自らの手で進めていった大会でした。リーグの企画・運営に関する一切のことが運営スタッフミーティングと称する各チームの代表者の集まりで検討されました。これは、特に女性は普段の大会においてはゲーム（プレー）だけの参加になりがちになる傾向があるのに対し、体育館確保、資金調達、会場準備、結果集計などの大会運営に関する裏方の苦労を知ることによって、その他の大会にも最大限の協力ができるようになる「女性スタッフを育てる」ことを狙いとしています。運営委員は男性は私1人で他はすべて女性です。

「選手の自主性を育てる」という目的のため、各チームの監督もチーム代表者を通して意見を述べるスタイルをとりました。また、チーム同士の親睦を深める手助けとして全選手の住所録を作成して全選手に配布しました。

今回のリーグは「今後のお手本になるようにしよう。やるからには中途半端ではなく、誇れるものにしよう」ということになりました。参加12チームによる総当たり計66試合、大会のない9月から1月までの休日及び平日の夜間を利用して実施、大会プログラムの印刷製本、優秀選手・得点王の表彰、大会途中での追加登録制度、閉会レセプションの実施など、すべて選手自らがスタッフミーティングにおいて発案・決定しました。

③審判について

「女性レフェリーの養成」を大会理念の1つとして、女性レフェリーを育てることがこの大会の大きな狙いになっています。男子の大会であれば自分達でお互いに審判をすることができても、女性だけであれば審判はわざわざ頼まなければならない。男性審判の確保にも苦労する。それならば、自分達で審判ができれば…という発想が最初でした。

女子リーグ発足をにらんで昨年4月に関東・関西等の大学を卒業した審判経験のある選手を中心に新たに14人がD級登録し、C級1人を含む21人の女性審判団を女子リーグスタート時に編成することができました。

そして県協会審判部と協力し、審判アドバイザー制度を導入しました。審判アドバイザー制度とは、A・B級審判を持つ男性レフェリー（沖縄県は19名）が毎試合レフェリングをチェック・記録し、ゲーム終了後ジェスチャーや判定などについてアドバイスをするというものです。いわば、全国のA・B級審査で行われることをレフェリーを始めた段階で実施し、よりよいレフェリングを身につけるという試みです。このアドバイスは記録として残されるようになっており、女性レフェリーもお互いに何をアドバイスされたか、後日見ることができます。この制度による女性レフェリーの審判技術の向上は目覚ましく、リーグ後半には女性ペアで県内の高校女子の1・2回戦を、男性レフェリーとペアで高校男子1・2回戦をジャッジできるようになった女性レフェリーもいました。

このアドバイザー制度ではアドバイザーにあたった上級レフェリーの自覚・後継者養成・ルールや判定の再確認といった意識の向上につながる思わぬ効果も生まれました。

④報道（広報活動）について

沖縄には朝日、読売、毎日というような大手新聞は半日遅れで東京から空輸されてくる関係で、県民のほとんどが地元紙である沖縄タイムスか琉球新報のどちらかの新聞を愛読しているといった特殊事情があります。

このような地域密着の新聞では小さなことでも取り上げられます。特にスポーツ記事では県内大会でも写真入りで大きく報道されます。その中でもハンドボールは県民全体に関心が高く、小学生、中学生の大会でもカラー写真・コメント入りで報道されます。記事の大きさもプロ野球と肩を並べています。プレーしている選手達は試合の結果や自分達の写真が載ることにより、とても励みになります。

女子リーグについても写真付きの記事として6回、結果だけを含めると25回の新聞報道がなされました。これにかかる費用は毎回の試合結果をFAXする電話代だけです。このようにメディアをうまく活用すれば大きな宣伝効果が得られます。他の県では考えられないことかもしれませんが、どんな形であっても報道されればハンドボールを大きくアピールすることにつながります。

最後に、数多くの選手・先生方のご尽力により発足した沖縄女子リーグが、各地域のハンドボール関係者の方々の何らかの参考になり、少しでもハンドボールの普及・発展に貢献することができたならば、沖縄の関係者にとってこの上ない喜びになることは間違いありません。

全京都車いすハンドボール大会

車いすハンドボール競技規則

京都府ハンドボール協会副会長　小西博喜

前号（No.372）で掲載いたしました「全京都車いすハンドボール大会」の対戦結果、ならびに競技規則について引き続きご紹介いたします。

1、施設・用具・服装

(1) コート
原則として、次のとおりとする。

単位cm
2400
サイドライン
ゴールエリアライン
センターライン
ゴールライン
100
150
500
30
300
1200
エンドライン
5

(2) ゴール
原則として、高さ128cm×横140cm～153cmのゴールを使用し、エンドライン後方30cmのゴールライン上に設置する。

(3) ボール
原則として、直径16cm～18cmのソフティボールを使用する。

(4) 服装
原則として、チームは同一のユニフォーム又はゼッケンを着用する。

2、チーム

・ゲームは、車いす使用者6名（フィールドプレイヤー5名、ゴールキーパー1名）で行い、上肢に障害を伴うもの2名以上を含むものとする。
・交替競技者の数は、特に定めず、ボールデッドの時点で、審判に申し出て自由に交替できる。
・ハーフタイム・休憩の時、審判に申し出てポジションチェンジができる。

3、試合時間とタイムアウト

・ゲームは、ハーフタイム10分をはさんだ、前・後半各20分とする。
・同点の時の延長時間は、休憩5分後、10分とする。
・チームは、前・後半各2回（一回につき30秒以内）作戦タイムをボールデッドの時点で要求できる。
・レフェリータイムアウト・作戦タイム・競技者交替の時は、時計を止める。

4、競技の開始

・両チームの代表によるトスを行い、勝ったチームがボールの所有かコートサイドのどちらかを選択する。
・ボールを所有したチームのセンターラインからのスローで競技を開始する。後半は、相手チームのスローオフとし、延長の場合は、あらためてトスで決める。
・得点後のスローオフは、ゴールキーパーのゴールエリアからのスローにより行う。

5、得点

・得点は、ゴール毎に1点とする。
・ボールが半分以上ゴール内に位置すれば得点とする。

6、ボールのあつかいかた

(1) 許されるプレー
・下腿、又は足以外の身体（車いすを含む）の部分でプレーすること。
・ボールを保持し、車いすを連続3回プッシュ（ブレーキングは含まない）すること。電動車いすの場合は、最高3秒間移動とすること。
・ボールを一方の手から他方の手へと持ち替えること。ジャッグルも許される。

(2) 禁止されるプレー
・下腿、足でプレーすること。
・腰を浮かしてプレーすること。

(3) ゴールエリア内でのゴールキーパーのプレーの制限はない。
・ゴールエリア外でのゴールキーパーのプレーはフィールドプレイヤーと同様の制限を受ける。

7、ボールの動き

・ラインアウトしたボールは、最後に触れたプレイヤーの相手チームのボールとなる。
サイドライン＝サイドからのスローイン／エンドライン＝オフェンス側のプレイヤーが触れた時ゴールキーパーボール、ディフェンス側のプレイヤーが触れた時コーナーからスローイン
ただし、ゴールキーパーに触れてエンドラインをラインアウトしたボールは、ゴールキーパーボールとする。
・ボールの、ラインアウト・インの判断は平面とし、ゴールエリアに関わる判断も同様とする。
・センターラインをはさんで味方にスローインはできない。
・オフェンスの時、自コート・相手コートそれぞれにおいて、味方どうし最低1回パス（1パス）しなければならない。プレーの再開される位置により、自コートでのパスは必要がない。また、サイドラインからのスローインも1パスとみなす。
・オフェンスの時、故意にセンターラインをはさんで自コートにバックパスすることはできない。
・ゴールキーパーは、自コート内にパスしなければならない。ゴールキーパーのゴールエリアからのパスは、1パスとしない。
・ゴールエリアライン付近のオフェンス側の反則は、ゴールキーパーボールとする。
・ゴールキーパーボール及びペナルティスロー以外の反則は、その時点における最も近いサイドラインから、相手チームのスローインとする。
・ゴールエリアライン付近でのディフェンス側の反則に対して、ペナルティスローが与えられる。方法は、ゴールエリアラインから3名による10秒以内の攻撃とする。
・ゴールにあたって再度コートに入ったボールは、インプレーとする。
・イーブンボールに対して、両チームのプレイヤーが同時にコンタクトした場合は、その場所のコート側のチームのボールとする。

8、反則

・トラベリング　ボール保持者が車いすを連続4回プッシュした時（ブレーキングは含まない）電動車いすの場合は3秒をこえて移動した時。
・5秒ルール　スローインの時、ホイッスルが鳴ってから5秒を超えた時。ゴールキーパーが5秒を超えてパスしなかった時。
・30秒ルール　1回の攻撃で、センターラインを越えてから30秒を超えた時。
・ハッキング　相手の保持するボールを、奪い取ったり、手でたたき落とすこと。
・ブロッキング　過度に身体や車いすに触れて、相手の動きを妨げること。
・プッシング　故意にボールをぶつけたり、突っ込んだり、相手に対して危険な動作をすること。
・フロアータッチ　ボール保持者の身体のいずれかの部分が床に触れた時（ただし、足で車いす

を操作する者を除く）
・フロントピックアップ　床のボールをフットレストの前から拾った時。
・ストップボール　車いすの下にボールが入り停止した時。
・ゴールエリアイン　フィールドプレイヤーがゴールエリアに入った時。
・エンドラインアウト　ゴールキーパーがディフェンス中エンドラインを出た時。
・ストーリング　故意に試合の進行を遅らせていると、審判が判断した時。

9、その他

(1)　判定に関すること
・審判の判定には、絶対に従うこと。
・アンフェアーなプレーについては、警告する。警告を2回受けたプレイヤーは退場しなければならない。
・ボールデッドとは、ボールがラインアウトしたり、反則があって攻撃権が移動する時の状態をいう。
・審判は、試合の進行中プレイヤーが怪我をした時、あるいは怪我をすることが予想されると判断した時、車いす等の修理する場合にレフェリータイムアウトをとる。ただし、車いすの修理に2分以上要する場合は、交替競技者を出すか、チームとして作戦タイムをとらねばならない。車いすの交換は認める。
・両チームのプレイヤーが同時に反則した場合は、オフェンス側の優位を認める。
・試合の進行上、支障がなければ反則をとらない場合がある。
(2)　チームの編成については、当分の間、申し合わせ事項によるものとする。

対戦表　一般の部「予選リーグ」

Aゾーン

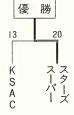
	日吉LCA	KSAC	ハンドインハンド	勝	負	順位
日吉LCA		4－15	7－22			3
KSAC	15－4		22－18			1
ハンドインハンド	22－7	18－22				2

Bゾーン

	日吉LCB	サン・アビ城陽	スーパースターズ	勝	負	順位
日吉LCB		5－18	5－19			3
サン・アビ城陽	18－5		11－22			2
スーパースターズ	19－5	22－11				1

〈順位〉

①スーパースターズ
②KSAC
③サン・アビ城陽

決勝戦

3位決定戦

ジュニアの部

〈順位〉

①サン・アビ城陽B
②サン・アビ城陽A
③笑福亭一門

誌上審判講習会

競技規則解釈と競技規則必携の解説の追加について

(財)日本ハンドボール協会　審判委員長　大塚　文雄

余寒の候、皆様におかれましてはますますご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は、日本ハンドボール界発展のため、格別なご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、早速でございますがＩＨＦでは本年8月1日より次の趣旨によりルールの一部改正を行ないます。

1　試合をより一層スピーディーにするための可能性の追求。

2　試合をフェアーなものにすることを目標とする。

許されるプレー、許されないプレーの判断をより容易にする。

3　6mラインと9mラインの間でのプレー動作の行為の修正。

4　さまざまな戦術が生み出される可能性の保障。

5　レフェリーの主観的な判断の縮小。

6　観客やメディアにとっても容易なルール解釈。

ＩＨＦでは、ルールブック等もまだ出来ておらず、6月のヘッド・レフェリー・シンポジュームにて細則や運用について検討され、8月実施という段取りですが、日本では、平成10年度よりの実施が決まっております。

しかし、現行の競技規則の解釈・運用の問題として対処出来ますところは、本年4月より採用、実施致しますので、次の平成5～8年度版競技規則書の競技規則解釈と平成7～8年度版競技規則必携の解釈に別紙の事項を追加し、実施していただくようお願い申し上げます。

春のハンドボールシーズン開幕を控え、関係方面に周知徹底、伝達の程、よろしくお願い申し上げます。

【競技規則解釈】

以下を平成5年～8年度版の競技規則解釈に追加する。

14、チームタイムアウト

各チームは、正規の競技時間中の前半、後半、各1回ずつ、一分間のチームタイムアウトをとることができる。

各チームは、正規の競技時間(延長時間を除く)の前、後半にそれぞれ1回ずつ、一分間のチームタイムアウトを請求する権利がある。

一度請求したチームタイムアウトは、取り消すことができない。

チーム役員が、タイムキーパーにチームタイムアウトを請求したときは、次の状況でチームタイムアウトが与えられる。

●ボールが、チームタイムアウトを請求したチームのゴールに入ったとき(得点されたとき)。

●ボールが、チームタイムアウトを請求したチームのアウターゴールラインを越えたとき(ゴールキーパースローのとき)。

タイムキーパーは、笛を吹き、チームタイムアウトを知らせ、伸ばした腕で、請求したチームを示す。

スローオフやゴールキーパースローが、既に行われたならば、チームタイムアウトを与えてはならない。

コートレフェリーが、タイムアウトの合図を出し、そして、タイムキーパーが時計を止める。レフェリーが、チームタイムアウトを認めたときには、ジェスチャー18(タイムアウト中のコート内への立ち入りの許可)を行う。タイムキーパーは、専用の時計で、チームタイムアウトを計時し、その管理を行う。スコアラーは、チームタイムアウトを請求したチームを、記録用紙に記入する。

チームタイムアウト中、プレイヤーとチーム役員は、コートの内、外を問わず、自陣の交代地域の前にいなければならない。レフェリーは、ボールを持ってコートの中央で待機し、そのうち一人が、協議の為に、速やかにオフィシャル席に行く。

チームタイムアウト中の競技規則違反は、競技時間中の違反と同様に扱う(解釈1)。違反したプレイヤーがコート内にいても、交代地域にいても、スポーツマンシップに反する行為は、17の3c、または17の3の最終段落を適用し、退場とすることができる。

50秒経過した時に、タイムキーパーは笛を吹き、10秒後に競技を再開しなければならないことを知らせる。競技は、中断の理由にふさわしいスローで再開する(16の3)。タイムキーパーは、レフェリーの笛の合図で、競技時間を計時する時計をスタートさせる。

15、パッシブプレイの予告ジェスチャー

コートレフェリーが、パッシブプレイと判断したときは、肘を直角に曲げて手を挙げるジェスチャーで、シュートをする意図が認められないことを知らせる。ゴールレフェリーも、同じジェスチャーで同意したことを示す。その後、攻撃側チームが、引き続きゴールにシュートをしようとしなければ、原則として、コートレフェリーが、パッシブプレイの笛を吹く。

1度出された予告ジェスチャーは、攻撃側がボールを失うまで有効である。攻撃側にフリースローが与えられた後でも、パッシブプレイが認められるときには、ジェスチャーを繰り返すことなく、判定するべきである。

この予告のジェスチャーによって、チームはレフェリーのパッシブプレイの判断に対応できるようになる。

レフェリーは、次のような明らかな遅延行為に対しては、予告ジェスチャーなしで、パッシブプレイの判定をすることができる。

●あまりにもゆっくりとしたプレイヤーの交代。

●他のプレイヤーにパスできるにもかかわらず、自陣にロングパスを戻す。

●シュートチャンスにシュートをしない。

【競技規則必携の解説】

以下を平成7・8年度競技規則必携の解説に追加する。

第4条　チーム

4の5　不正交代がおきた場合の競技の再開は、違反したプレイヤーがサイドラインを越した場所から、フリースローを行う。しかし、競技が中断したときに、相手チームに有利な地点にボールがあるときは、その有利な地点から、フリースローを行うことができる。

第7条　ボールのあつかい方

7の9を次のように変える。

床に止まっているボール、あるいは転がっているボールに対して、身を投げかけることは許されるが、その行為が、危険であると判断される場合は、違反とする。

7の11　ボールを所持しているチームが、攻撃しようとしなかったり、ゴールへシュートせずに、ボールを持ち続けようとすることは、パッシブプレイとみなされ、レフェリーは、予告のジェスチャーをするべきである。

しかし、明らかな遅延行為に対しては、予告ジェスチャーなしで、パッシブプレイの判定ができる。

第8条　相手に対する動作

8の1　ボールをブロックしたり、得るために、腕や手を使用することは許される。

8の3　相手プレイヤーの正面で、走り込んできたり、ジャンプして飛び込んでくるプレイヤーに対して、身を守るために曲げた腕を使って相手の身体に触れること、または、相手の動きにあわせてついてゆくことは許される。

8の4　腕、手、脚で相手プレイヤーを阻止したり、押し出すことは許さ

れない。

8の11　攻撃側の違反は、攻撃側プレイヤーが走ったり、または、ジャンプして相手にぶつかったときに特に見られる。このルールは、防御側プレイヤーが、身体接触の瞬間に、攻撃側プレイヤーの正面で正しい位置取りをし、しかも前方に動いていないときに適用する。

8の4から8の11の規則違反は、攻撃側に対しても、防御側に対しても同様に適用する。

8の14　相手に危害を及ぼすような行為に対しては、失格となる。次の場合は相手に危害を及ぼす行為として失格させなければならない。

①シュートを打とうとしているプレイヤーの腕を、横、または後ろから叩いたり、引っ張ること。

②結果がどうであれ、相手の頭や、首を強く叩くこと。

③膝蹴りや、足で蹴飛ばすような行為。

④走ったり、ジャンプしている相手を押したり、相手が身体のコントロールを失うような行為。

第19条　タイムキーパー・スコアラー

19の2(f)　タイムキーパーは、公示時計で退場時間を表示することが望ましい。それができないときには、退場になったプレイヤーの入場時間と番号を、オフィシャル席に掲示しなければならない。これらの設備がないときには、チーム役員に退場者カードを手渡す。

交代地域規定の解説

5　チーム役員は、競技中、競技規則に従い、フェアプレイとスポーツマンシップの精神に則り、自チームを指導し、管理する権利と責任を持っている。しかし、原則としてチーム役員は、ベンチに座っていなければならないが、選手を交代させたり、プレイヤーに作戦の指示をしたり、治療行為をしたり等のコーチ活動のために、交代地域内で立ち動くことは許される。

7　レフェリーが、交代地域規定の違反に気がつかなかったときには、次の競技中断時に、タイムキーパー、スコアラー、または、立会人は、それをレフェリーに知らせなければならない。

交代地域規定違反を犯したプレイヤーやチーム役員は、レフェリーが罰し、スコアラーは、それを記録用紙に記載する。

レフェリーのジェスチャーの解説

以下をレフェリーのジェスチャーの解説に追加する。

19　パッシブプレイの予告

手のひらを正面に向けた状態で、肘を直角に曲げて手を挙げる。

【チームアウト実施の手引き】

1、スコアラーは、前半と後半の開始前に(延長戦は除く)、両チームにチームタイムアウト請求カードを渡しておく。

2、チーム役員は、オフィシャル席に請求カードを提出する。スコアラーがカードを受け取ったときは、それをタイムキーパーに知らせる。一度出されたチームタイムアウトの請求は、取り消すことはできない。

3、タイムキーパー、あるいはスコアラーは、チームタイムアウト請求カードを専用スタンドに立てる。

4、タイムキーパーは、次の場合、直ちにチームタイムアウトを知らせる笛を吹く。

a)ボールが請求したチームのゴールラインを通過し、ゴールインしたとき。

b)ボールが請求したチームのアウターゴールラインを通過し、レフェリーがゴールキーパースローを判定したとき。

5、タイムキーパーは、チームタイムアウトを請求したチームを伸ばした腕で示す。

6、レフェリーは、タイムアウトの合図(2の4に従い、笛を短く3回吹き、「T」のジェスチャーをする)をする。

7、タイムキーパーは時計を止める。

8、レフェリーは、ジェスチャー18(両チームに対するコートへの入場許可)をする。

9、タイムキーパーは、直ちに、チームタイムアウト専用の時計を用いて、チームタイムアウトの時間を計時する。

10、プレイヤーとチーム役員は、チームタイムアウトの間、コートの内、外を問わず、自陣の交代地域の前にいなければならない。チームタイムアウト中の競技規則違反は、競技時間中の違反と同様に扱う。

チームタイムアウト中のスポーツマンシップに反する行為は、違反したプレイヤーが、コートの内にいても、交代地域にいても、17の3c、または17の3の最終段落を適用し、退場となる。

11、スコアラーは、チームタイムアウト請求カードをスタンドから外し、請求したチームを記録用紙に記入する。

12、レフェリーは、ボールを持ってコートの中央で待機し、そのうち一人が、協議の為に、速やかにオフィシャル席に行く。

13、タイムキーパーは、50秒経過した時に、笛(ブザー等の音)で合図し、競技再開を促す。

14、コートレフェリーは、10秒以内に競技を再開できるように、両チームを正しい位置につかせる。

15、ゴールレフェリーは、所定の位置で待機する。

16、コートレフェリーは、競技再開の笛を吹く。競技は、中断の理由にふさわしいスロー(スローオフ、またはゴールキーパースロー)で再開する。

17、タイムキーパーは、レフェリーの笛の合図で、競技時間の計時をスタートさせる。

18、チームは、相手チームがチームタイムアウトを請求した直後でも、自チームのチームタイムアウトを請求できる。これらのチームタイムアウトは、どちらかのチームが、スローオフ、あるいはゴールキーパースローを得たときに与えられる。

19、前半に、チームタイムアウトを請求しなかったり、与えられなかった場合でも、チームタイムアウト請求の権利を、後半に、持ち越すことはできない。

20、スコアラーは、前半の終了とともに、チームに残ったチームタイムアウト請求カードを回収し、後半開始時に再び配る。そして、後半終了時にも、残ったカードを回収する。

チームタイムアウト
公式記録用紙の記入法

チームタイムアウトの請求があった場合、スコアラーは、まず請求したチームのチーム欄（ランニングスコア欄最上部）に、「Ⓣ」と記入する。

その後、タイムキーパーが、チームタイムアウトを知らせる合図をし、レフェリーがタイムアウトを認めたとき（両チームに対するコート入場の許可をする）に、チームタイムアウトを認めたチームのランニングスコア欄に、時間と「結果」に「Ⓣ」と記入する。

[例]

●前半にAチームから請求があった場合。

1．先ず、チーム欄に「Ⓣ」と記入する。

2．チームタイムアウトが認められた後、時間と「Ⓣ」と記入する。

●後半にBチームから請求があった場合。

後半の欄に、前半と同様に記入する。

A Ⓣ			前半		B			A			後半		Ⓣ B		
背番	結果	得点	時	間	得点	結果	背番	背番	結果	得点	時	間	得点	結果	背番
	Ⓣ		12	38											
										26	50		Ⓣ	

世界の技を盗もう

企画・広報委員
早川　文司

　春の訪れというにはまだ寒かったが、暦の上では「立春」にちょっぴり早いバレンタイン・プレゼントが届いた。ＩＨＦの96年世界最優秀選手にイズミのプレーイング・マネージャー林五卿決定の知らせだ。

　イズミ＝林五卿といえるほど、センタープレーヤーとして、指揮官として欠かせない存在だが、最高だった96年のシーズンを締めくくるなんともビッグな贈り物が世界のヒロイン誕生だった。

　創部３年目のチームを日本リーグのレギュラーシーズン１位、プレーオフ制覇へと導いた林五卿だが、自らも最高殊勲選手、最優秀選手、シュート率１位、ベスト７、最優秀監督と５つの個人タイトルを獲得したほどの偉大なプレーヤーだ。

　韓国代表としては、バルセロナ五輪、世界選手権で金メダルを手にしたほか、ＭＶＰや得点王にも輝くなど世界に名をはせているが今回の受賞は数々の栄光にさらにもう１つ大きな冠が加わり、名実ともに世界ナンバーワンの地位を築いたといえよう。

　彼女と接して関心するのは、たくましい勝負根性。とにかく負けず嫌い。それには練習でしっかりした技術を身につけ、試合で発揮することである。監督兼任になった96年にはいっそう〝勝負の顔〞が厳しくなった。

　日本には今、林五卿ら外国人の素晴らしい選手が多く活躍している。それぞれ〝自分の技〞を身につけている。せっかくの機会だから少しでも技を盗もうではないか。精神力や闘争心も…多くの〝おいしい食財〞が目の前にある。ごちそうを食べない手はない。出来るだけ腹いっぱい食べたいものだ。こればかりは栄養過多にはならないと保証できる。

　とにかく１つでも、２つでもいい。吸収出来るものから吸収するという気持ちを持つことだ。それが世界のハンドボールに少しでも近づく道だろう。

　来月はいよいよ熊本の男子世界選手権だ。ここにもいっぱい目を見晴らせるようなお手本が勢ぞろいする。またとない絶好のチャンスをぜひとも生かそうではないか。そして初めに触れた林五卿が感激の涙にむせぶだろう〝世界のヒロイン〞表彰式もまた楽しみに待ちたい。

IHF役員・委員リスト

COUNCIL

Erwin LANC,AUT	President
Dr.Nabil SALEM,EGY	1st Vice-President
Christophe YAPO ACHY,CIV	Vice-President Africa
Sheikh AHMAD,KUW	Vice-President Asia
Staffan HOLMQVIST,SWE	Vice-President Europe
Dr.Peter BUEHNING,USA	Vice-President Panamerica
Raymond HAHN,FRA	Secretary General
Rudi GLOCK,GER	Treasurer
Peter MÜHLEMATTER,SUI	COC President
Kjartan STEINBACH,ISL	HRC President
Dr.Hassan MUSTAFA,EGY	CCM President
Dr.Gijs LANGEVOORT,NED	MC President
Carin NILSSON GREEN,SWE	CPP President
Ferdinand KITSADI ZORRINO,CGO	Representative Africa
Ahmed Nasser AL FARDAN,KUW	Representative Asia
Karl GÜNTZEL,SUI	Representative Europe
Herrmann BRUNNER,CRC	Representative Panamerica

EXECUTIVE COMMITTE

Erwin LANC,AUT	President
Dr.Nabil SALEM,EGY	1st Vice-President
Raymond HAHN,FRA	Secretary General
Rudi GLOCK,GER	Treasurer
Staffan HOLMQVIST,SWE	Vice-President Europe

(COC)

Peter MUEHLEMATTER,SUI	President
Alexander KOZHUKHOV,RUS	Member
Erik LARSEN,DEN	Member
Miquel ROCA MAS,ESP	Member
Rachid MESKOURI,ALG	Member Africa
Yoshihide WATANABE,JPN	Member Asia
Michael WIEDERER,AUT	Member Europe
Peter BUEHNING,USA	Member Panamerica

(PRC)

Kjartan STEINBACH,ISL	President
Janis GRINBERGAS,LTU	Member
Herbert JEGLIC,SLO	Member
Roger XHONNEUX,BEL	Member
Babacar N'DOYE,SEN	Member Africa
Chun-Jo PARK,KOR	Member Asia
Manfred PRAUSE,GER	Member Europe
Christer AHL,USA	Member Panamerica

(CCM)

Dr.Hassan MUSTAFA,EGY	President
Michal BARDA,CZE	Member
Jean-Michel GERMAIN,FRA	Member
Peter KOVACS,HUN	Member
Juan de Dios ROMAN SECO,ESP	Member
Dietrich SPÄTE,GER	Member

(CPP)

Carin NILSSON GREEN,SWE	President
Ahmed Abu AL-LAIL,KUW	Member
Said BOUAMRA,ALG	Member
Ralf DEJACO,ITA	Member
Marc GYSELS,BEL	Member
Rafael SEPULVEDA,PUR	Member

AHF役員・委員リスト

日本より選出された役員・委員

エグゼクティブコミィティ	渡辺佳英副会長
COCメンバー	井薫常務理事
CMCメンバー	大西武三常務理事
PDCメンバー	木野実常務理事
MCメンバー	西山逸成医科営委員長

※PRCだけにメンバーが入れなかった。

AHF役員

Shaikh Ahmed Al-Fahad Al-Sadah	President	KUW
Mr.Ahmed Naser Al-Fardan	Vice President	UAE
Mr.B.J.Shin	〃 〃	KOR
Mr.R.L.Anand	〃 〃	IND
Mr.Syad Abul Hassan	Secretary General	PAK
Mr.Bader Mohd. Al-Diyab	Treasurer	KUW
Mr.Shi Tian Shu	Council Member	CHN
Mr.Abdul Wahed Al-Sumaity	〃 〃	QAT
Mr.Yoshihide Watanabe	〃 〃	JPN
Mr.Mohammed Al-Matrood	〃 〃	KSA
Mr.Ali Riza Rahimi	〃 〃	IRI
Mr.Ahmed Naser Al-Fardan	Chairman-COC	UAE
Mr.Jalail Asad Mirza	Chairman-CMC	BRN
Mr.Chun Jo-Park	Chairman-PRC	KOR
Mr.Amin Barwany	Chairman-PDC	OMA
Mr.Sari Hamdan	Chairman-MC	JOR

AHF委員

The Executive Committee

Chaikh Ahmed Al-Fahad Al-Sadah	Chairman	KWT
Mr.Ahmed Naser Al-Fardan	Member	UAE
Mr.Yoshihide Watanabe	〃	JPN
Mr.Syad Abul Hassan	〃	PAK
Mr.Bader Mohd. Al-Diyab	〃	KWT

(COC)

Mr.Ahmed Naser Al-Fardan	Chairman	UAE
Mr.Ibrahim Abdul Rehman Moosa	Member	Qatar
Mr.Mohammed Yasmina	〃	Syria
Mr.Kaoru II	〃	Japan
Mr.Hu Jianguo	〃	China
Dr.Abdul Rehman Ahmed Zafar	〃	Saudi Arabia
Mr.Nahar Sa'ad Al-Asfoor	〃	Kuwait

(PRC)

Mr.Chun Jo Park	Chairman	Korea
Mr.Khamees Salmeen Safar	Member	UAE
Mr.Li Zhiwen	〃	China
Mr.Ali Saleh Al-Omair	〃	Saudi Arabia
Mr.Khalaf Naser Al-Enezi	〃	Kuwait

(CMC)

Mr.Jalil Asad Mirza	Chairman	Bahrian
Mr.Takezo Ohnishi	Member	Japan
Prof.Alimohammad Amirtash	〃	I.R.of Iran
Mr.Chang Wei	〃	China
Mr.Jasem Mohammad Al-Diyab	〃	Kuwait

(PDC)

Mr.Amin Barwani	Chairman	Oman
Mr.Ali Hussain	Member	Qatar
Mr.Minoru Kino	〃	Japan
Mr.Al-Hiloo Farhood Al-Dar'aa	〃	Kuwait
Mr.Shyam S. Adhikari	〃	Nepal

(MC)

Dr.Sari Hamdan	Chairman	Jordan
Dr.Issei Nishiyama	Member	Japan
Mr.Inchool Park	〃	Korea
Dr.Mustatab Ahmed	〃	Pakistan
Dr.Mrs.Taliee Alenabi	〃	I.R.of Iran

東京運動記者会賞

男子 藤井孝志（大同特殊鋼）
女子 長久直子（イズミ）
が初受賞

96年東京運動記者会ハンドボール分科会は、2月はじめに96年に活躍した選手として、男子は藤井孝志（大同特殊鋼）、女子は長久直子（イズミ）（写真）をそれぞれ選出した。

藤井孝志選手は特に日本リーグ・プレイオフ対中村荷役戦でディフェンスにおいては中村の強力なロングシューターを防ぎ、ポストでは粘りのあるプレーで5点を挙げるなど大同特殊鋼の優勝に貢献した。

また、女子の長久直子選手は、イズミの主将として創部以来チームをひっぱってきて、今度の日本リーグ初優勝に導いた評価が受賞に結びついた。

いずれも初めての受賞である。

求職案内

Tom Nikolajsen
Denmark

私は37才ですが、デンマーク・ハンドボール学校で、エリート教育を受けました。私は20年間コーチをやって来ました。また昨年はSLAGELSE第二部女子のコーチをやりました。

現在はデンマークリーグのNHKS男子のコーチをやっています。私にとっても大いなるチャレンジとして、日本のハンドボールチームに希望をもっています。

Mr.Benkreira Mohamed

ナショナルチーム、又はクラブチームの監督・コーチを希望。
1960年3月8日生
カナダ国籍　既婚
詳細は日本協会に問い合わせて下さい。

JOCハンドボール指導者講習会

全国からの指導者 審判員が熱心に受講

平成9年2月21日(金)～26日(水)までおこなわれたC級コーチ養成講習会専門科目講習会の一部が、JOC指導者講習会とし、公開されました。会場は、東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター。21日は男子ナショナルチームスタッフの「オルソンの指導に接して」、22日はアラン・ルンド氏により「ハンドボールの世界の傾向～アトランタオリンピックを中心として～」と題し、全国から多くの指導者・審判員が参加のもと開催されました。当日は平日であるにもかかわらず、100名を越す関係者が集まり、興味深く、熱心に話に聞き入っていました。以下に、講習会の内容を報告致します。

第1日「オルソンの指導に接して」

冒頭、日本協会野田清強化担当常務理事より、挨拶に続き概要説明があり、続いて、田口隆コーチ、酒巻清治コーチ、栗山雅倫指導委員会委員より日頃の練習や、コーチング方法についての説明がありました。

【日本協会野田清強化担当常務理事より】

オルソン監督を迎え、1年が過ぎようとしています。ハンドボール界としては初のナショナルコーチ招聘で戸惑うことも多かったのですが着実な成果が現れてきているように思います。外国の一流コーチの報酬は決して安くはありません。蒲生全日本のアシスタントコーチとして既知であったオルソン氏に打診したところ、苦しい台所事情の日本協会も十分に理解してもらえ、世界選手権開催国のナショナルコーチという名誉を重んじ、報酬に関係なく監督を、快く引き受けてもらうことができました。就任後は、体力・体作り、食事を含む生活管理、テクニックから戦術まで全てに関して、オルソン氏の考えで進めてきました。強化委員会としても、合宿、海外遠征など、最大限のバックアップに務めてきました。5月の熊本世界選手権まで100日を切った現在、ナショナルチームとして最後の仕上げの時期にきています。多くの方々からの、更なる声援を期待しますと共に、是非、熊本へ足を運び、応援を宜しくお願いいたします。

強化委員会としましては、オルソン監督の指導を体系的にまとめ、全国の皆様にお伝えすると共に、今後全日本チームに生かしていくための資料の作成を考えています。

【田口隆コーチ、酒巻清治コーチ、栗山雅倫指導委員会委員より】

オルソン監督の考え方の中心は徹底した確率論であって、決して妥協をしないということです。選手に対しては、トータル能力で評価し、自信と信念を持って指導に当たっています。コーチングばかりでなく、生理学から栄養学まで様々な専門知識を組み合わせて指導に当たるのも特徴です。常に理論的な裏付けを持ち、選手にはわかりやすく指導し、選手にやる気を起こさせています。

①意識改革

3月にオルソン監督のもとで初めての合宿がありました。その際に、オルソン監督が言ったことは、「It is possible（やればできる）」ということでした。世界選手権とは文字通り世界チャンピオンを決める大会であり、日本選手は、自国の開催ということで、様々なプレッシャーの中で戦わなければならない。そこで、選手に要求されるのは、どんな状況に陥ろうとも、最高のパフォーマンスが発揮できる強靱なメンタルタフネスを持ち合わせた選手であり、自分の掲げたターゲットに対して、前向きに勇気を持って進めることです。常に、勝利に向かって、考えてプレーをする選手でなければなりません。そして、先日行われたスウェーデンとの国際試合の後、全日本総合でのナショナル選手の態度が1年前とは180度変わってきました。

②体格・体力

ハンドボールはコンタクトスポーツですから、世界のトップレベルの選手と対等に戦うための体格・体力を身につけることが大切です。身長を高くすることはできませんが、体重を増やすことは可能です。しかしながら、ただ体重を増やすのではなく、筋量増による除脂肪体重増加をしなければなりません。まず、食事に関しては、1日体重1kg摂取するように努めました。また、合宿時の食事のパターンは朝昼夕夜と練習の間にパンと牛乳を摂取するようにしました。その成果あって、表1に示すように、当初の目標平均88kgをクリアーすることができましたが、今後も引き続き継続して体格面の向上を目指します。

更に、高カロリーを摂取しても脂肪量が増えないように、数多くの体力トレーニングに取り組んでいます。また、健康面にも留意し、医科学委員会による形態測定も行っています。

③戦術・個人技能

チーム戦術としては、日本人の特長であるスピードを生かし、ヨーロッパの選手を左右に揺さぶり、成功確率の高いポジションでのシュートチャンスを作り出すことを目標にしています。逆に、DFでは、9mエリア内を完全に守り、相手に確率の高いシュートチャンスの状況を全く与えないようにします。

個人技能としては、ロングシュートは50%以上、サイドシュートは70から80%を目標にし、ポストはバックプレイヤーとのコンビネーションを確立します。センター

DFは9m内のシュートをつぶし、サイドDFは味方DFを押し上げ、相手OFのきっかけを潰します。ゴールキーパーはシュート阻止率50%を目標とし、速攻など、攻撃への第一歩となれるようにします。

　これからは、実戦に向け、世界のトッププレイヤーのビデオなどを用いてイメージトレーニングも行っていく予定です。逆に、世界のトッププレイヤーの悪い部分を引き出し、自分たちの方向が間違っていないことを確認し、自分たちの練習も録画し、ミーティングでチェックしていきます。

《詳しくは機関誌No.365を参照下さい》

第2日「ハンドボールの世界の傾向～アトランタオリンピックを中心として～」

アラン・ルンド氏の紹介

年齢　49歳

国籍　デンマーク

職業　現在スポーツ教師であり、長年オデンセ大学教授であった。

略歴　長年デンマークCCMの委員長を務め、1983年以降IHF講習会の講師を務め、1992年より4年間IHF・CCMメンバーとなる。デンマークでは女子ナショナルチームやクラブチームの監督を歴任し、サウジアラビア男子チーム監督としては北京アジア大会では銅メダルとなる。今回は、1994年オリンピックソリダリティ、昨年のコーチレフェリーシンポジウムに続く来日で、大の親日家でもある。

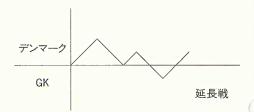
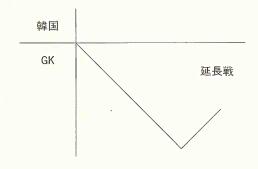
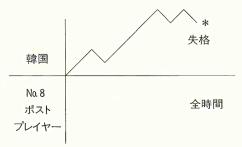
　講義は、アトランタオリンピックのゲームを中心とし、現在のハンドボールの分析と今後の展開、展望についておこなわれました。オリンピックは、世界最高の大会であり、出場各国はこれに向けて戦術、強化の面でもベストのチームを作ってきます。このため、オリンピック大会は、現在の「ハンドボール」を考える上で大変有効な大会です。

■男　子

　男子決勝はクロアチアとスウェーデンの間で行われましたが、大会前、誰もフランスの優勝を疑うものはいませんでした。フランスは、アイスランド世界選手権で優勝し、現在最高のチームであると誰もが信じていました。しかしながら、フランスも熊本ではトップに返り咲くでしょう。エジプトも良いチームで、スペインに敗れたのは残念でしたが、熊本では台風の目となることでしょう。

　大会前、誰がクロアチアの金メダルを予想したでしょうか。決勝戦は、予想通り、初優勝に執念を燃やすスウェーデンと、独立後初出場のクロアチアの熱戦となりま

図1　デンマーク・韓国の両エースの評価表比較

した。勝敗を分けたのは、良いディフェンス・システムとゴールキーパーの出来不出来と言えるでしょう。

■女 子

大会前、女子ハンドボールの興味は韓国チームの3連覇成るかに絞られていました。現在、世界の女子のトップは、韓国、デンマーク、ノルウェー、ハンガリーの4チームです。予想通り、女子決勝はデンマークと韓国の間で行われました。両チームともアーニャ・アンデルセン（No.11）と林五卿（No.7）という、世界最高水準のプレイヤーを擁し、予想通りの白熱したゲームとなりました。私はどちらのチームが勝っても不思議ではなかったと思います。それでは、勝敗を分けたのは何でしょうか。私は、①エースの活躍と延長戦での2人の活躍の違い②ゴールキーパーの活躍と交代時期③ポストプレイヤーの出来と韓国ポストプレイヤーの失格による戦力の低下、の3点にあると分析しました。

以下に分析結果を示します。まず、2人の中心プレイヤーの評価表を図1に示します。前半・後半ともに高い貢献度で、良い働きをしていた2人が、延長戦では明らかに違ってきていることがわかります。これは延長戦時における、両ゴールキーパーの評価表（図2）からもわかります。また、貢献度の高かった韓国のポストプレイヤー（No.8）（評価表　図3）が3回目の退場で、失格になったことも林の攻撃力を低下させた一因とも考えられます。

上：酒巻コーチと栗山委員，下：熱心な受講者

大会のもう一つの興味は、韓国と中国というアジアの2チームが世界水準のチームに成長してきたということです。韓国の成長は誰もが知るところですが、今回中国がドイツを敗ったことは特筆すべき所です。私は、昨年中国で講義をしましたが、日本も決して中国に劣るものではないと思います。日本女子ナショナルチームの活躍を期待しています。

おわりに

熊本世界選手権まで100日を切った現在、今日ほど、日本中の指導者・コーチの目が世界に向いていた時があったでしょうか。また、世界をこれほど直に感じた時期があったでしょうか。その様な時に、世界の指導法を直に、今、体験している指導者と世界のトップのコーチの話を直に聞くことができたことは有意義であったと思います。

図2　デンマーク・韓国のGKの延長戦の評価表比較

図3　韓国ポストプレイヤーの貢献度と失格によるダメージ

C級コーチ養成講習会実施について

指導委員会

期　日／平成9年2月21日～26日
場　所／国立オリンピック記念青少年総合センター
参加人員／39名（男子34名、女子5名）

2000年に指導者の資格義務付けを目指して、指導者養成コースが上記のような設定で実施されました。講師には、昨年のコーチシンポジウムで来日したデンマークのアラン・ルンド氏をはじめ、国内の著名な指導者が名をつらねました。参加者も様々な層から熱心なハンドボール指導者が全国から集い、理論や実技の講習を1日10時間というハードスケジュールでこなし、内容の濃い講習会となりました。

作戦板を用いての講習

特にルンド氏は、その輝かしい経歴（OLYMPIC SOLIDARITYやCOACH SYMPOSIUMで紹介済み）にも関わらず、デンマークから片道十数時間の空路を苦とせず再来日され、熱心に指導にあたられた。その実績と理論に裏打ちされた講義は実技指導も含め、ユーモア、叱咤激励を交え、コーチとはこうあるべきだという姿勢を自ら示されました。参加者の方々もこうした姿勢に触発されてか、積極的に取り組み、熱気ある講習が展開されました。

なお、初日の午後と2日目の午前にわたり、JOCの指導者講習会が同時に開催されました。この中で、熊本世界選手権に向けての全日本男子のチームの現況がコーチングスタッフから紹介されました。また、大塚氏からアトランタ五輪以後のルールの最新状況、ルンド氏から世界のハンドボールの戦術動向などが解説・報告されました。

講習会全体の流れは、主に、午前：基礎理論講習、午後：実技・指導実習、夜間：実践報告講習でした。ここで指導者として必要なことは何かが語られ、議論され、意見交換も行なわれました。つまり、精神論や情熱論、科学的スポーツ理論、個人技術や戦術論、チーム戦術、傷害予防など幅広い知識と実践をまじえた講習内容でした。参加者にとって大きな刺激と自己啓発の一助となったのではないでしょうか。さらに、講習終了後の談話とあわせて、恒例となっている、各講習が始まる前の短時間の自己紹介を兼ねたショートスピーチにあて、お互いの交流を深める試みもなされました。

各参加者が、今回得られた指導法に関する理論や実践方法を、所属チームだけでなく、多くの関係者に伝達されることが望まれます。そして、日本のハンドボール指導が経験論から脱し、より専門的な指導が確立され、日本全体としての指導体系の一貫化が計れるようになることが期待されます。

最後に、講習会を成功させるために、数カ月にわたる準備に携わり、滞りない運営にあたった関係各位のご協力に感謝するしだいです。

平成8年度C級コーチ養成講習会報告

神奈川県立百合丘高校　上林　正明

平成8年度日本体育協会・日本ハンドボール協会共催のC級コーチ養成講習会、専門教科講習会が、平成9年2月21日(金)より26日(水)まで5泊6日で、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催されました。今回はこの内容について報告します。

■参加者

参加者は、全国各地より次の方々が参加されました。

◆　◆　◆

糸井亮平（内郷高校・福島）、斉藤　崇（葛巻高校・岩手）、越智康裕（石川高校・福島）、田川卓史（川俣高校・福島）、岡市　武（盛岡一高校・岩手）、谷藤節雄（盛岡三高校・岩手）、矢作英樹（郡山女子高校・福島）、二瓶元嘉（二瀬中学・福島）、坪井　昇（金井高校・神奈川）、上林正明（百合丘高校・神奈川）、遠藤秀之（厚木商業高校・神奈川）、田村修治（東海大学・神奈

ルンド氏を囲んで

川)、吉岡寛之(湘南工科大附高校・神奈川)、西田由紀子(聖徳大附聖徳高校・茨城)、北村善夫(中央高校・茨城)、金井伸二(海上自衛隊・京都)、飯山　進(立山アルミ・富山)、都志見朋子(飯南高校・鳥取)、長久直子(イズミ・広島)、亀井好弘(香川中央高校・香川)、芝　高徳(新居浜南高校・香川)、建岡欣也(天草工業高校・熊本)、岡本憲和(潮江中学・高知)、島田房二(富士高校・東京)、坪井雅典(知立高校・愛知)、白鳥貴子(ボーマン美術装飾・大阪)、岩本雅男(晴美台中学・大阪)、福田　弘(竜ケ崎二高校・茨城)、金城一史(東風平町教育委員会・沖縄)、山崎英幸(関西女子短大・大阪)、酒井信幸(金沢市立工業高校・石川)、繁田順子(四天王寺高校・大阪)、堀江薫雄(日野産業高校・鳥取)、栗山雅倫(筑波大学大学院・茨城)、大森北寛(筑波大学大学院・茨城)、藤林文博(筑波大学大学院・茨城)、濱津喜勇(西郷養護学校・福島)、増田　徹(鬼怒中学校・茨城)

実技講習より

■講習内容と講師

今講習会の講習教科の概要と講師は以下の通りです。

◇2月21日

「指導者の役割、ハンドボールの特性、ハンドボールの発展」大西武三(日本協会指導普及委員長・常務理事・筑波大学)

「ナショナルチーム監督オレ・オルソンの指導に接して」野田　清(日本協会強化委員長・常務理事・大同特殊鋼)田口　隆(男子ナショナルチームコーチ・日本協会)酒巻清治(男子ナショナルチームコーチ・湧永製薬)

◇2月22日

「ルール・審判法」大塚文雄(日本協会審判委員長・常務理事・国立高校)

「アトランタオリンピックにおける世界の傾向」アラン・ルンド(前国際ハンドボール連盟CCM委員)「実技・個人攻撃戦術」アラン・ルンド

「指導実習・パス練習の発展」

「コーチ論(実業団女子)」西窪勝広(女子ナショナルチームコーチ・オムロン監督)

「義務教育期の指導法」角　紘昭(東海ブロック指導委員・市立南押切小学校長)

◇2月23日

「ルールの変遷」村松　誠(日本協会指導委員・参事・駒澤大学)

「指導法理論・指導方法」アラン・ルンド

「実技・ファンクショナル・トレーニング」アラン・ルンド

「指導実習・モチベーションエクササイズ」

「コーチ論(実業団男子)」松本勇(中村荷役総監督)

「コーチ論(高校男子)」渡辺靖弘(横浜商工監督)

◇2月24日

「ハンドボール競技の生理学・体力学」田中　守(日本協会医科学委員・福岡大学)

「指導法理論・個人攻撃戦術」アラン・ルンド

「実技・速攻」アラン・ルンド

「指導実習・技術練習の中の体力トレーニング」

「ハンドボールチームの運営」高橋英次(日本協会指導委員・福生市教育委員会)

◇2月25日

「ハンドボールのバイオメカニクス」清水宣雄(国際A級審判・国際武道大学)

「指導法理論・個人防御戦術」アラン・ルンド

「実技・個人防御戦術からグループ防御戦術」アラン・ルンド

「指導実習・個人技術から戦術への発展」

「世界のハンドボールの戦術の変遷」笹倉清則(日本協会指導委員・日本女子体育大学)

「コーチ論(高校女子)」大橋　晃(名古屋短大附属高校監督)

◇2月26日

「ハンドボールの傷害と予防」井上良太(プロ野球西武球団トレーナー・小守スポーツ)

今回は講師に世界的指導者である、デンマークのアラン・ルンド氏を迎え、講義及び実技を4回ずつ担当していただきました。受講者にとっては、コーチングフィロソフィー、ハンドボールフィロソフィーの確立に向け、大変有意義な講習であったと思います。

現在のところ、隔年開催を予定しており、次回は平成10年度です。機関紙、各都道府県指導委員等を通じてご案内します。

熱心に聞き入る受講者

スポーツ・アイーESPN、エキサイティング・ハンドボール

エキサイティング・ハンドボールは5月に熊本で行われる世界選手権にむけてハンドボールの魅力を毎週お伝えしていくハンドボール専門番組です。

番組では、今年初めて行われたクラブチーム世界一を決める大会・スーパーグローブなどこれまでテレビでは見ることが出来なかった世界トップレベルの試合を放送。また、ハンドボールの基本的ルールやプレーをわかりやすく紹介するトップ・オブ・ザ・ハンドボール、そして日本代表の動向や選手の紹介などの世界選手権の情報や日本リーグの話題などをお伝えするハンドボール・ワールドのコーナーなど盛り沢山。

ハンドボール経験者はもちろん、初めてハンドボールを見る人も楽しめる番組です。

写真左は稲垣さん、中央はメインキャスターの皆藤さん

放送予定

日時	備考
4月2日(水)20:30～21:30	
4月3日(木)19:00～20:00	(再放送)
4月7日(月)22:32～23:32	
4月9日(水)2:00～3:00	(再放送)
4月9日(水)20:00～21:00	(再放送)
4月14日(月)22:32～23:32	
4月19日(土)13:00～14:00	(再放送)
4月21日(月)22:32～23:32	
4月26日(土)16:00～17:00	(再放送)
4月28日(月)22:32～23:32	

スポーツ・アイーESPNを見るには

スポーツ・アイーESPNを見るには2つの方法があります。

(1) PerfecTV!（新しいデジタル衛生放送）で観る

家電店でパーフェクTV！専用のデジタルチューナーとアンテナを購入し、テレビと電話回線に接続します。パーフェクTV！カスタマーセンターにお電話で仮登録すると2週間は無料で視聴できます。同封の加入申込書をパーフェクTV！カスタマーセンターに送付すると本契約完了です。

月額視聴料：単独料金　1200円（お好みセットとのパック割引料金は900円）

スポーツセット料金　1470円（スポーツ・アイーESPN1200円&別のスポーツチャンネルのGAORA900円○30%OFF）

（＊加入時に加入料2800円と月々基本料290円が別途かかります／尚、料金は全て税別です）

加入申込・お問い合わせ：パーフェクTV！カスタマーセンター　03-5802-5550

(2) ケーブルテレビに加入する

お住まいの地域のケーブルテレビ局でスポーツ・アイーESPNを放送している場合は、そのケーブルテレビ局と契約して見ることができます。

月額視聴料：約3～4千円程度（尚、工事費＋加入料が別途必要となります）

＊ケーブルテレビ局によって料金が変わりますので、ご確認下さい。

お問い合わせは『スポーツ・アイーESPN　03-5474-3344』まで

●　●　●

エキサイティングハンドボールでは番組の中で、世界選手権はもとより、ハンドボールに関するルール、技術・戦術などハンドボールに関する質問を受け付けています。取り上げられた人には、世界選手権グッズがもらえます。

質問の宛先は以下のところです。はがきまたはFAXでどうぞ。

〒107-77　東京都港区北青山2-5-1　伊藤忠ビル
ジャパンスポーツチャンネル　エキサイティングハンドボール係
FAX　03-5412-8162
エキハン係

メインキャスター紹介

いつも中央で司会進行を勤めるのは、皆藤慎太郎さん。TBSテレビのはなまるマーケットにもレギュラーのレポーターとして奮戦中。将来はメジャーなタレントさんとして期待十分な方です。是非ハンドボールと一緒に応援したいものです。

そのとなりに座っているのが、稲垣玲伊子さん。トップオブザハンドボールで、ハンドボールの一流プレイヤーに奮戦中。そのうちどこかの試合に出場しているかも。

お二人とも、この番組を期にハンドボールのファンになったとのこと。いまではかなりのハンドボール通になっています。外国の選手の名前などよく知っており、解説者もたじたじとか。

コーチ・レフェリーシンポジュウム・熊本

世界選手権期間中、コーチ・レフェリーシンポジュウムを下記の通り開催いたします。

期　日　　5月20日（火）、21日（水）、24日（土）、25日（日）、27日（火）、28日（水）
時　間　　午前9時３０分～１２時３０分
場　所　　熊本県立総合体育館会議室
　　　　　熊本市上熊本１－９－２８　(tel) ０９６－３５６－１２３３

テーマ　　①ＷＣ’９７映像によるレフェリングの分析
　　　　　（大会中のゲームのビデオより、ルール・レフェリングに関する研修、解説を行います。）

　　　　　②講演会
　　　　　（世界のハンドボール関係者を講師として、ミニ講演会を開催します。）

　　　　　③ＷＣ’９７映像による、技術・戦術の分析
　　　　　（大会中のゲームのビデオより、技術戦術、作戦等に関する研修、解説を行います。）

ｽｹｼﾞｭｰﾙ　　３つのテーマを開催日ごとに行います。内容は日々変更します。

参加方法　　◎任意の日に参加することができます。
　　　　　　◎参加希望者は、①参加予定日、②受講依頼文書の発送の有無　を記して日本協会にお申し込みください。 FAX 可。
　　　　　　◎宿泊、ﾁｹｯﾄ等は、世界選手権担当のＪＴＢ等を通して各自お取りください。

受講料　　無料

1997年男子世界ハンドボール選手権大会・熊本 入場料金表（入場券の種類・料金・発売開始日等）

番号	入場券の種類	販売価格(円) 前売券	販売価格(円) 当日券	前売券 発売期間	前売券 販売場所	備考
1	開会式入場券 （パークドーム熊本）	3,000		平成８年10月１日 から 平成９年５月16日	（全国） チケットぴあ系列のチケットセンター 日本交通公社各支店 日本旅行各支店 阪急交通社各支店	
2	決勝戦（閉会式）入場券 （パークドーム熊本）	3,000	4,000	平成９年１月20日 から 平成９年５月31日		
3	予選リーグ入場券 （パークドーム熊本） （熊本市総合体育館） （八代市総合体育館） （山鹿市総合体育館）	1,000	1,500	平成９年１月20日 から 平成９年５月17日		
4	決勝トーナメント入場券 （パークドーム熊本） （熊本市総合体育館）	1,000	1,500	平成９年１月20日 から 平成９年５月26日		
各種割引	高校生 中学生 小学生	50%割引		別に、教育活動の一環として学校観戦を行う際には、引率者も含めて入場料金は200円とする		
	身体障害者等割引	50%割引		身体障害者手帳 療育手帳 精神障害者保健福祉手帳を所持する者		
	団体購入割引	20%割引		一つの企業・団体が、1,2,3,4の入場券それぞれを15枚以上まとめて購入した場合に適用。ただし、50%割引との重複適用はしない。		

４月の行事予定

■全日本男子チーム強化合宿
４月７～18日／熊本県総合体育館
４月28～30日／大同特殊鋼体育館

■全日本女子チーム強化合宿
４月12～20日／オムロン体育館

CONTENTS　4月号

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

HAND BALLS

国際公認球

アデランテ 前進

ホワイト／ブラック　　ホワイト／ピンク

PKCH3-AD　　¥4,600

検定球3号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-AD　　¥4,500

検定球2号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

ホワイト／ブラック　　ホワイト／ブルー

ホワイト／ブラック　　ホワイト／ピンク

PKCH3-BS　　¥4,000

検定球3号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・男子用，人工皮革，
パキスタン製

PKCH2-BS　　¥3,800

検定球2号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
人工皮革，パキスタン製

PKCH3-SRT　¥5,600

検定球3号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-SRT　¥5,500

検定球2号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

PKCH3-ADR　¥2,800

練習球3号，アデランテ，　手縫い
一般・大学・高校・男子用，合成ゴム
パキスタン製

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

本　　社	／〒733	広島市西区楠木町3丁目11-2	TEL082（237）5145
東京営業所	／〒111	東京都台東区松が谷1丁目5-14	TEL03（3843）4671
大阪営業所	／〒543	大阪市天王寺区東高津町1-6	TEL06（761）8441
大阪物流センター	／〒577	東大阪市西堤本通東3-4	TEL06（781）4845
広島営業所	／〒733	広島市西区楠木町3丁目11-2	TEL082（237）4772
名古屋営業所	／〒460	名古屋市中区千代田2丁目24-8	TEL052（251）2381
福岡営業所	／〒812	福岡市博多区東比恵4丁目12-9	TEL092（431）6950
仙台営業所	／〒984	仙台市若林区卸町東4丁目1-8	TEL022（288）2361

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』第三七三号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成九年三月二十六日 印刷
平成九年四月一日 発行
東京都渋谷区神南一―一―一
電話 代表 三四八一―二三六一
振替 〇〇一二〇―七―一〇二九三
編集兼発行人 中澤重夫
価格は登録金に含む